

令和4年度

社会福祉法人 美咲会

事業報告書

みずほ苑

特別養護老人ホームみずほ苑
短期入所生活介護事業所みずほ苑
デイサービスセンターみずほ苑
在宅介護支援センターみずほ苑
地域包括支援センターみずほ苑みよし
生計困難者に対する相談支援事業
社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業

関沢みずほ苑

グループホームみずほ苑
小規模多機能ホームみずほ苑
富士見市地域包括支援センターみずほ苑
三芳町認知症サポートセンター

法人理念


MISSION ミッション

 だれもが活躍できる社会をつくる


VALUE バリュー

 THE MISAKIKAI WAY


User ユーザー

 ご利用者が安心して過ごせること

Community コミュニティ

 地域と共創し続けること

We ウィー

 職員が豊かな人生を築けること

< 目次 >

I 運営状況	p.2
1. 理事会、評議員会、第三者委員会の開催状況	p.3
2. 会議の開催状況.....	p.4
3. 委員会の開催状況.....	p.7
4. プロジェクトチームの開催状況.....	p.7
5. その他取り組み状況.....	p.8
II 各事業所及び各部署の報告(みずほ苑・関沢みずほ苑)	p.12
1. 特別養護老人ホームみずほ苑(介護老人福祉施設).....	p.12
2. 短期入所生活介護事業所みずほ苑.....	p.17
3. デイサービスセンターみずほ苑(通所介護).....	p.20
4. 在宅介護支援センターみずほ苑(居宅介護支援).....	p.25
5. 地域包括支援センターみずほ苑みよし.....	p.27
6. グループホームみずほ苑(認知症対応型共同生活介護).....	p.30
7. 小規模多機能ホームみずほ苑(小規模多機能型居宅介護).....	p.36
8. 富士見市地域包括支援センターみずほ苑.....	p.41
9. 健康係.....	p.44
10. 栄養係.....	p.45
11. 三芳町認知症サポートセンター.....	p.48
12. 生計困難者に対する相談支援事業、その他.....	p.50
13. 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業.....	p.51
14. 新規事業.....	p.52
III 研修等報告	p.53
1. 法令等研修(内部研修)の開催・参加状況.....	p.53
2. 外部研修受講状況.....	p.53
3. 職種別研修.....	p.54
4. 職階別研修.....	p.55
5. 法人理念に対するワールドカフェの開催.....	p.55
6. 事業計画の振り返りの実施.....	p.55
VI 職員について(法人全体)	p.56
1. 令和4年度入職・退職の状況.....	p.56
2. 離職率.....	p.56
3. 職員数.....	p.56
4. 男女比.....	p.57
5. 年齢.....	p.57
6. 介護職員の介護系資格保有状況.....	p.57
V 参考資料	p.58

I 運営状況

ロシア・プーチン政権のウクライナ侵攻は世界に大きな衝撃をあたえ、現在も戦争の終結は見てきません。戦争は私たちの日々の福祉実践の対極にあるものであり断じて許すことはできません。

ここ数年にわたるパンデミックや戦争により世界情勢が不安定になっています。エネルギーをはじめとしたあらゆる物の値段が上昇しており経営を圧迫しております。

昨年度、リブランディングとして見直した美咲会の理念体系をビジョンブックとしてまとめ、全職員を対象に法人理念研修を実施しています。今よりも、さらに一体感のある法人経営につなげてまいります。

透明性の高い法人として、美咲会のビジョンや経営状況、私たちの社会福祉実践を積極的に発信するためホームページをリニューアルし運用を開始しております。

事業環境が目まぐるしく変化するなかではありますが、新規事業ハレサク(Hare-Saku)の開設に向けての準備を進めてまいりました。建材の高騰により工事請負の入札は難航しましたが、無事に工事請負契約を締結することができました。また建設地の借地契約の締結をはじめ、補助金申請、施設長予定者の研修やリーダー研修などの人材育成、求人活動に取り組んでおります。



令和6年度は新規施設ハレサク(Hare-Saku)の開設の年度になります。ハレサクをご利用される方、地域の皆様、そして職員も含むすべての方にとって、“晴れやかになれる場”の創造を美咲会一丸となり進めてまいります。

Misakikai
social welfare corporation

1. 役員会等の開催状況

(1) 理事会開催状況

開催日	項目	内容
第1回 5月13日	監事監査報告	令和3年度監事監査報告について
	議案第1号	令和3年度事業報告について
	議案第2号	令和3年度決算報告について
	議案第3号	社会福祉充実残額及び計画について
	議案第4号	評議員会の開催について
	報告事項	理事長及び業務執行理事(常務理事)の業務執行状況について
第2回 9月7日	議案第1号	令和4年度第1次補正予算(案)について
	議案第2号	理事長の専決事項を超える令和5年度の契約について
	議案第3号	(仮称)上沢みずほ苑の建設に伴う協調融資先の選定
	議案第4号	(仮称)上沢みずほ苑の建設に伴う資金計画、担保提供、連帯保証人について
	議案第5号	定期借地権設定契約について
	議案第6号	入札の実施について
	議案第7号	(仮称)上沢みずほ苑の施設名について
	議案第8号	関沢みずほ苑大規模修繕計画及び修繕積立金について
	議案第9号	給与規程の変更(案)について
	議案第10号	みずほ苑東館地盤沈下の対応について
	議案第11号	評議員会の開催について
	報告事項	理事長及び業務執行理事(常務理事)の業務執行状況について
第3回 11月10日	議案第1号	(仮称)特別養護老人ホーム上沢みずほ苑の建築業者選定における入札結果及び今後の進め方について
	議案第2号	リエゾとの契約について
第4回 12月16日	議案第1号	入札の実施について
	議案第2号	定期借地契約の変更(案)について
第5回 2月24日	議案第1号	(仮称)特別養護老人ホーム上沢みずほ苑の建築業者選定における入札結果及び今後の進め方について
第6回 3月10日	議案第1号	独立行政法人福祉医療機構及び埼玉りそな銀行からの融資を受ける件について
	議案第2号	令和4年度補正予算(案)について
	議案第3号	令和5年度事業計画(案)について
	議案第4号	令和5年度予算(案)について
	議案第5号	理事長の専決事項を超える令和5年度の契約について
	議案第6号	(仮称)特別養護老人ホーム上沢みずほ苑の建築業者との契約締結に

		について
	議案第7号	(仮称)特別養護老人ホーム上沢みずほ苑の一般定期借地契約の締結について
	議案第8号	富士見市地域包括支援センター業務の受託について
	議案第9号	評議員会の開催について
	報告事項	理事長及び業務執行理事(常務理事)の業務執行状況について

(2)評議員会開催状況

開催日	項目	内容
第1回 6月11日	監事監査報告	令和3年度監事監査報告について
	議案第1号	令和3年度事業報告について
	議案第2号	令和3年度決算報告について
	議案第3号	社会福祉充実残額及び計画について
	報告事項1	理事長、業務執行理事(常務理事)の業務執行状況について
第2回 10月29日	議案第1号	令和4年度第1次補正予算(案)について
	報告事項1	理事長、業務執行理事(常務理事)の業務執行状況について
	報告事項2	(仮称)上沢みずほ苑の進捗状況報告
	報告事項3	新型コロナウイルスの発生報告
第3回 3月18日	議案第1号	令和4年度補正予算(案)について
	議案第2号	令和5年度事業計画(案)について
	議案第3号	令和5年度予算(案)について
	報告事項1	理事長、業務執行理事(常務理事)の業務執行状況について
	報告事項2	(仮称)特別養護老人ホーム上沢みずほ苑の進捗状況について

(3)第三者委員会開催状況

開催日	内容
6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告の概要説明 ・利用者状況の報告 ・各事業所の事故報告 ・各事業所の苦情報告 ・令和4年度事業計画の概要説明



2. 会議の開催状況

	会議名	拠点	議題と会議内容	開催数
1	法人運営会議	法人全体	・法人の運営に関すること	13回
2	管理者会議	法人全体	・法人運営会議からの連絡報告事項 ・法人全体で取り組むべき事項	12回

			・各事業所の課題や業務に関する事項	
3	業績会議	法人全体	・各事業所の実績報告と考察 ・予算を下回っている場合の対応策の検討	12回
4	予算管理会議	法人全体	・月次決算報告 ・予算・補正予算案作成 ・予算執行状況の把握・分析	12回
5	特養運営会議	竹間沢	・各フロアからの報告・相談、重点課題の検討	12回
6	特養フロア会議	竹間沢	・ケース検討(ケーススタディ) ・介護事故の再発防止策の有効性の評価 ・故人カンファレンス ・連絡事項等(管理者会議、運営会議等)	合計 48回
7	プリセプター会議	特養	・プリセプティへの関りの現状と対応 ・評価表に基づく自己評価と他者評価の報告	4回
8	デイ運営会議	竹間沢	・業務に関すること ・職員のスキルに関すること(引継ぎ状況の共有) ・事故報告、ヒヤリハットの振り返り ・不適切ケアの確認	12回
9	デイ ケース検討会議	竹間沢	・通所介護計画書作成に伴う評価・多職種でのケース 検討	12回
10	在宅介護支援センター 運営会議	竹間沢	・各種会議からの報告 ・業務に関する検討事項 ・地域ケア会議の振り返り	12回
11	在宅介護支援センター 業務・事例検討会議	竹間沢	・事故、苦情に関すること ・制度、社会資源に関すること ・新規、困難ケースの検討	52回
12	包括みよし運営会議	竹間沢	・業務に関すること ・ケース検討	12回
13	関沢みずほ苑 運営推進会議	関沢	・運営状況の報告(入退居報告、日常生活状況) ・地域行事の計画・予定・報告 ・地域交流の状況報告 ・ご家族アンケートの報告 ・事故の報告 ・外部評価及びサービス評価の報告	6回
14	グループホーム ユニット運営会議	関沢	・ユニット運営状況の報告 ・ユニットごとの課題の明確化と共有 ・ユニット会議への課題設定 ・栄養管理指導 ・入退居の報告	12回

15	グループホーム 全体会議	関沢	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカンファレンス ・業務検討及び法人全体に関すること ・ヒヤリハットの報告・検討 ・事故情報の共有 	12回
16	小規模多機能 運営会議	関沢	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカンファレンス ・業務検討及び法人全体に関すること ・ヒヤリハットの報告・検討 ・事故情報の共有 	12回
17	包括心じみ運営会議	関沢	<ul style="list-style-type: none"> ・研修、会議等の報告 ・業務検討 	12回
18	健康係運営会議	竹間沢	<ul style="list-style-type: none"> ・業務検討 ・各会議からの報告 	12回
19	栄養係運営会議	竹間沢	<ul style="list-style-type: none"> ・調理業務に関すること ・各会議の報告・連絡と厨房全体についての検討 	12回
20	企画室運営会議	竹間沢	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当者の業務進捗確認等業務に関すること ・重点課題の検討 	12回
21	新型コロナウイルス 対策本部会議	法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策についての検討 	14回
22	職員全体会議	法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・職員代表の選出 	1回



3. 委員会の開催状況

	委員会	拠点	活動実績	開催数
1	衛生委員会	法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・産業医の施設内巡視(労働環境の確認) ・健康診断、ストレスチェックの実施 ・労働者の危険または健康障害を防止するための対策に関すること ・労働者の健康の保持増進を図るための基本となる対策に関すること 	12回
2	入所検討委員会	竹間沢	<ul style="list-style-type: none"> ・新規申込者、入退所状況の確認 ・入所順位の確認、直近待機者の選定 ・待機者の近況状況の報告 ・入所検討 	12回
3	身体的拘束適正化検討委員会	竹間沢	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束実施者の中止または適正化に向けての話し合い ・拘束になっていないかの現状把握と予防策の検討 	4回
4	褥瘡予防委員会	竹間沢	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡発症者の処置、対応について状況報告と検討 ・褥瘡になりそうな方(高リスク者)の予防策について検討 	4回
5	感染症対策委員会	法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策の実施(12/1～3/31) 	4回
6	事故防止検討委員会	法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・事故データに基づいた検証 ・再発防止策についての検討 	4回
7	給食委員会	法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ・美咲会のフードマネジメントについて ・ご利用者の食事についての検討 ・災害備蓄品について ・嗜好調査の実施 	12回

4. プロジェクトチームの開催状況

	プロジェクトチーム	活動実績	開催数
1	防災チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施(4回) ・普通救命講習(1回) ・自主検査チェック「閉鎖障害」の実施(3回) ・防災マニュアルの見直し、職員への配布 ・安否連絡カードの配布 ・避難完了マグネットシートとゼッケンベストを利用した訓練の実施 	3回
2	研修チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の計画、実施 ・法人理念教育等研修の計画および実施 ・その他必要な研修の実施 ・各種研修の実施状況の確認 	5回

3	行事チーム	・各行事の開催可否の検討	5回
4	広報チーム	・年に4回の広報誌「アンダンテ」を発行 ・Facebookの定期的な更新	4回
5	実習チーム(養成校)	・実習指導マニュアル(介護福祉士、社会福祉士)の更新 ・実習生の情報共有について見直し	2回
6-①	職場環境向上チーム (環境チーム)	・竹間沢、関沢両拠点の環境点検の実施、施設内美化活動	2回
6-②	職場環境向上チーム (職員親睦チーム)	・新年にあたり「ハレサク」のイラストをプリントしたお菓子の配布	3回
6-③	職場環境向上チーム (コミュニケーション向上チーム)	・「ありがとうカード」の配布と各拠点での掲示	3回
7	次世代型介護プロジェクト	・介護過程に基づく介護実践の導入(毎月1回) ・テクノロジーを活用した介護実践の導入(毎月1回) ・多様な人材が活躍できる介護実践の導入(毎月1回)	24回

5. その他取り組み状況

(1) 防災訓練について

① みずほ苑(竹間沢拠点)

	実施日	時間	訓練内容	備考
1	5/12 (木)	10:30~11:00	通報訓練	
2	7/14 (木)	10:30~11:30	避難訓練	
3	10/1 (土)	10:00~11:00	総合訓練	消防署の立ち合いあり
4	11/10 (木)	11:00~11:15	通報訓練	
5	1/12 (木)	10:30~11:00	避難訓練	
6	3/9 (木)	10:00~11:00	総合訓練	消防署の立ち合いあり

② 関沢みずほ苑(関沢拠点)

	実施日	時間	訓練内容	備考
1	5/17 (火)	10:00~10:30	通報訓練	
2	7/21 (木)	15:00~15:30	避難訓練	
3	11/15 (火)	14:00~15:30	総合訓練	消防署の立ち合いあり
4	1/24 (火)	10:30~11:00	通報訓練	
5	3/14 (木)	14:30~15:30	総合訓練	消防署の立ち合い、地域住民、役所職員参加

※9月は新型コロナウイルス感染予防のため実施しませんでした。

(2)実習生及び体験学習等の受け入れについて**① みずほ苑(竹間沢拠点)**

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、実習生の受け入れを行いました。各養成校や教員免許取得のための介護等体験においては現場実習を実施せず、代替措置を継続しています。また、小中高生の体験学習は中止となりました。

単位(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護福祉士 実習	特養	6	15	18	140	126	43	0	102	6	32	111	29	628
	デイ	0	0	14	0	0	20	0	36	20	0	0	0	90
社会福祉士 実習	特養	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	10	22
	包括	8	10	10	8	22	20	20	19	18	13	19	5	172
体験学習(小中高生)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師実習		2	2	3	1	0	2	0	0	0	6	4	0	20
介護等体験		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労体験		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(名)		16	27	45	149	160	85	20	157	44	51	134	44	932

(参考)令和3年度 679名

② 関沢みずほ苑(関沢拠点)

単位(名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護福祉士 実習	GH	0	0	5	0	0	0	0	20	0	0	0	0	25
	小規模	0	0	0	0	5	20	0	10	0	0	0	0	35
社会福祉士 実習	包括	0	0	8	0	17	7	14	20	0	0	6	9	81
体験学習(小中高生)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(名)		0	0	13	0	22	27	14	50	0	0	6	9	141

(参考)令和3年度 150名

(3)ボランティアの受入状況について**① みずほ苑(竹間沢拠点)**

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの受け入れは行いませんでした。

② 関沢みずほ苑(関沢拠点)

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインを活用したレクリエーションに参加しています。9月マジックショー(富士見市社会福祉協議会主催)に参加しています。

(4)地域における取り組みについて**① みずほ苑 きらく会(地域サロン)実施状況**

8月、12月、1月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を3回中止させていただきました。

地域で集まる機会が少なくなっている為「きらく会」に新規で参加される方が8名と多く、コロナ過でも活気ある交流が実施できました。

② 関沢みずほ苑 せきざわ横丁(地域サロン)実施状況

65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方を対象とし、毎月第4月曜日に「せきざわ横丁」(地域サロン)を開催する予定をたてました。新型コロナウイルスの感染対策を講じて、5月、6月、12月、1月、2月、3月の計6回開催いたしました。

③ 関沢みずほ苑 ふじみパワーアップ体操(介護予防体操)の実施状況

地域の高齢者の健康と体力の向上を目的に、毎月第2・4木曜日に関沢みずほ苑1階多目的室を利用し「ふじみパワーアップ体操」を実施していましたが、新型コロナウイルスの感染対策のため、昨年同様に今年度もすべて中止といたしました。

(5)介護の魅力PR 隊活動状況について

埼玉県では、介護職のイメージアップおよび魅力ある職場づくりを促進し、介護人材の確保を図るために、「介護職員しっかり応援プロジェクト」の活動が進められています。介護の魅力PR 隊の活動はその一環として行われており、埼玉県内で40名の隊員が活動をしています。

美咲会からは、今年度も1名の職員が参加し、様々な場所で介護の魅力を発信しました。

月日	内容	場所
9/8	介護職員の仕事内容や施設紹介	ハローワーク川越
10/11	介護職員の仕事のやりがい、ご利用者との関わり等	ハローワーク川越
12/7	合同説明会	ウェスタ川越
3/10	介護職の魅力、やりがい、施設紹介	ハローワーク朝霞

(6)その他活動について

月日	内容
4/1	辞令交付式、新入職員研修、職員全体会
5/24	年金事務所訪問調査(指導事項なし)
7/19、20	職員健康診断
※ ・毎週水曜日、ノー残業デー ・整理整頓の日(5/31、8/31、11/30、2/28) ・クールスポット設置(6/1～9/30) ・職員へ不織布マスクの支給(2カ月ごと)	

(7)外部における会議等の参加について

三芳町介護保険事業推進委員会	6/20、2/6 (計2回)
富士見市介護保険事業推進委員会	5/19、3/30 (計2回)
学福連携プロジェクト	4/18、5/23、6/30、7/25、9/26、11/1 (計6回)

(8)求人活動における取組みについて

OPEN COMPANY(キャリア含む)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
エントリー	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	5
参加	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	5
見学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
応募	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	4

INTERN SHIP(学生のみ)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
エントリー	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	5	1	9
参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
応募	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2



Ⅱ 各事業所及び各部署の報告（みずほ苑・関沢みずほ苑）

1. 特別養護老人ホームみずほ苑(介護老人福祉施設)

令和4年度はコロナ禍でも感染予防対策を行いながら、行事やイベントを実施しました。フロアごとでの行事や施設内で納涼祭、秋まつりを開催し、小規模ながら季節に合わせたイベントを行い皆様に楽しんでいただきました。今年度もご家族、地域との交流の機会を設ける事が出来ませんでした。今後は感染緩和に伴って徐々に実施する事を模索していきたいと考えています。



(1)事業計画に挙げた重点目標に対する取り組み状況

①「介護過程に基づいた介護実践」を進めます。

サービス担当者会議を開催し多職種協働のもと、施設サービス計画を作成することができました。

課題として、利用者の情報が各専門職で重複して管理、使用されていたためデータ更新の時間を費やすことや、各専門職間での情報共有が行いづらい状況でありました。そのため、各専門職が共有して活用できる利用者情報データベースの作成に取り組んでいます。情報の一元化により業務の効率化、情報共有を行いやすくするとともに、データベースを活用し個別介護計画書の作成につなげていきたいと思えます。

②「テクノロジーを活用した介護実践」を進めます。

移乗支援ロボットの導入に向け、負担の多い介護場面を検証しました。その結果、重度の方に対して行っている2人対応での移乗介助場面であることがわかりました。腰部への負担や介助の所要時間等で負担が多く、支援ロボットを導入することで腰痛予防、業務効率に期待できると考えています。2種類の移乗支援ロボットを実際に使用し、効果検証を行い導入に向けて検討していきます。

③「多様な人材が活躍できる介護実践」を進めます。

介護業務の中でどのような業務があるか可視化し整理をしました(業務指示書)。それにより、どの時間に何人必要かなど適正な人員配置を設定することができ、生産性や業務効率化を図ることができました。今後は指導内容が統一されるように、業務指示書をもとにケアごとの業務マニュアルを作成していきます。

④ ご入居者が快適に生活できるよう努めます。

換気・マスクなどの感染対策を行いながら、初詣や花見などの外出行事を行いました。外出が難しい方は、中庭を活用し外気に触れる機会を設けるなど、各フロア内で検討し実施しました。家族との面会では、オンライン面会を中心に一部緩和としてアクリル板越しの対面面会を開始することができました。

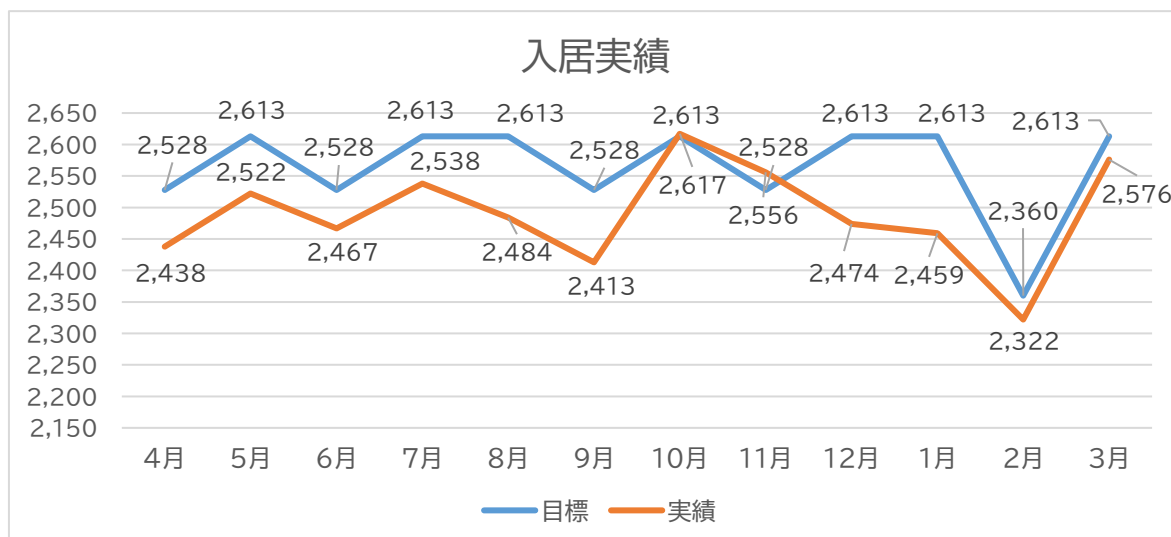
音楽療法については、効果的に実施できるように事前に好きな歌やご本人の状態を療法士の先生と共有しました。グループセッションを中心に、寝たきりの方・看取りの方へは個別セッションを活用し、好きな音楽に触れ穏やかに過ごしていただけるよう努めました。

(2)特別養護老人ホーム入居実績

		上半期					
フロア/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
西館2階	入居(名)	0	0	1	0	2	1
	退居(名)	0	0	1	2	1	0
	入院(延べ人数)(名)	2	4	4	4	5	2
西館3階	入居(名)	0	1	1	0	1	1
	退居(名)	0	2	0	0	2	1
	入院(延べ人数)(名)	1	2	2	1	3	3
東館2階	入居(名)	1	0	0	0	0	0
	退居(名)	1	0	0	0	0	1
	入院(延べ人数)(名)	0	0	0	0	1	1
東館3階	入居(名)	0	1	1	0	0	0
	退居(名)	0	1	1	0	0	1
	入院(延べ人数)(名)	2	3	1	2	1	1
延べ人数(名)		2,438	2,522	2,467	2,538	2,484	2,413
稼働率(全体)(%)		94.50	94.60	95.62	95.20	93.17	93.53
		下半期					
フロア/月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
西館2階	入居(名)	1	0	1	0	0	0
	退居(名)	1	0	1	0	0	0
	入院(延べ人数)(名)	2	1	6	0	0	0
西館3階	入居(名)	1	0	0	0	1	1
	退居(名)	0	0	0	1	1	0
	入院(延べ人数)(名)	0	0	5	7	3	1
東館2階	入居(名)	1	0	1	0	0	0
	退居(名)	0	1	0	0	0	0
	入院(延べ人数)(名)	0	2	0	0	0	0
東館3階	入居(名)	1	0	0	1	2	2
	退居(名)	0	0	1	2	1	1
	入院(延べ人数)(名)	0	0	3	2	1	1
延べ人数(名)		2,617	2,556	2,474	2,459	2,322	2,576
稼働率(全体)(%)		98.16	99.07	92.80	92.24	96.43	96.62

令和4年度稼働率 95.16%%

(参考)令和3年度稼働率 95.27%



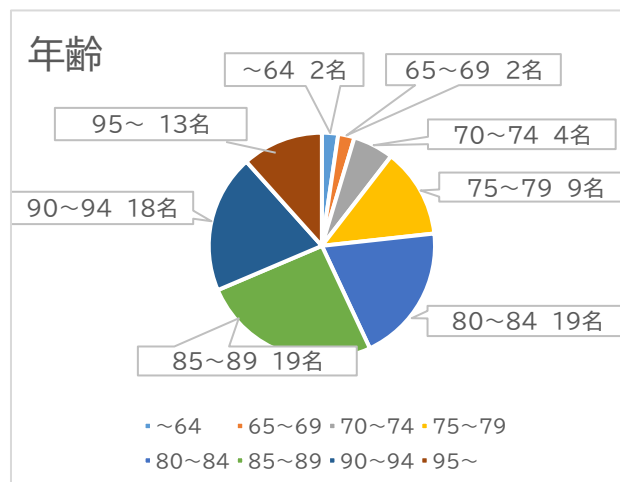
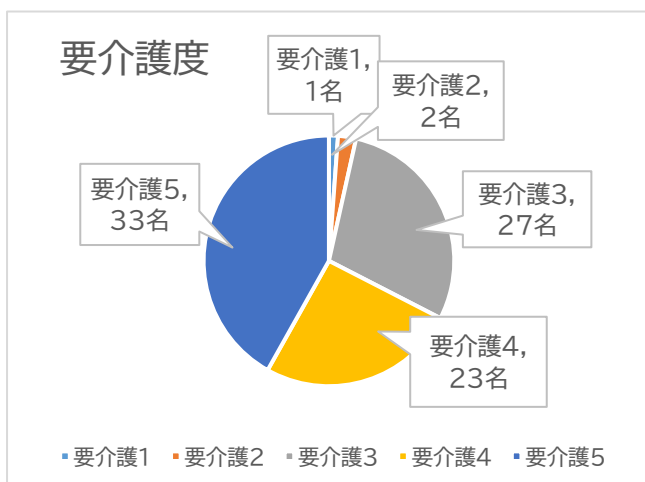
(3)特別養護老人ホームの利用者状況 (令和5年3月31日現在)

① 年齢と要介護度区分

- 平均年齢:85.6歳(参考:令和3年度 84.9歳)
- 平均要介護度:要介護4.0(参考:令和3年度 要介護4.0)
- 男女比:男性34%:女性66%(参考:令和3年度 男性30%:女性70%)

単位(名)

年齢	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
～ 64	0	0	1	0	1	2
65 ～ 69	0	0	0	1	1	2
70 ～ 74	0	0	0	1	3	4
75 ～ 79	1	1	2	2	3	9
80 ～ 84	1	0	8	5	5	19
85 ～ 89	0	0	4	4	11	19
90 ～ 94	0	1	6	5	7	18
95 ～	0	0	6	5	2	13
計	1	2	27	23	33	86名



② 障害高齢者の日常生活自立度と認知症高齢者の日常生活自立度 (令和5年3月31日現在)

障害自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
該当人数	0	0	0	9	9	21	30	6	11	86名
認知症自立度	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M		計
該当人数	0	4	7	23	37	4	11	0		86名

(4) 特別養護老人ホームの活動実績

月	活動内容	
4月	桜の花見(車中から)	誕生日会(各フロアで実施)
5月	菖蒲湯(各フロアで実施)	誕生日会(各フロアで実施)
6月	菖蒲・紫陽花ツアー(中止)	誕生日会(各フロアで実施)
	外食(三芳 PA)(中止)	梅シロップ作り
7月	七夕(各フロアで実施)	誕生日会(各フロアで実施)
	流しそうめん・スイカ割り(中止)	
8月	納涼祭 (ホールにて午前・午後の2部制にて実施)	誕生日会(各フロアで実施)
9月	敬老会(各フロアで実施)	ぶどう狩り(中止)
10月	日帰り旅行(中止)	誕生日会(各フロアで実施)
	入居者健康診断(10月30日)	
11月	秋まつり (ホールにて午前・午後の2部制にて実施)	誕生日会(各フロアで実施)
	福祉まつり(中止)	
12月	忘年会(各フロアで実施)	誕生日会(各フロアで実施)
	クリスマス会(各フロアで実施)	ゆず湯(各フロアで実施)
	入居者歯科検診(12月22日)	
1月	初詣(各フロアで実施)	誕生日会(各フロアで実施)
	新年会(各フロアで実施)	
2月	節分(各フロアで実施)	誕生日会(各フロアで実施)
	バレンタイン(各フロアで実施)	
3月	いちご狩り(中止)	誕生日会(各フロアで実施)



(5)特別養護老人ホームの事故状況

① 事故の種類と件数

事故種別	件数	事故種別	件数
転倒	34 件	転落	26 件
誤嚥	0 件	誤薬・誤配	14 件
溺水	0 件	火傷	0 件
異食・誤飲	0 件	利用者の行為	0 件
感染症	32 件	離苑(無断外出)	3 件
職員の行為	10 件	その他	1 件
計			120 件

(参考)令和3年度 113件

※利用者の行為・・・利用者が他の利用者や職員、第三者への外傷などを生じさせたこと

職員の行為・・・介護中に利用者が受傷したこと

② 受傷内容

受傷内容	件数	受傷内容	件数
打撲	3 件	骨折	4 件
皮下出血	10 件	表皮剥離	7 件
その他	6 件	受傷なし	90 件
計			120 件

(6)外部医療機関の受診状況

単位(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	6	5	8	4	4	2	6	4	9	5	4	7	64
外科	7	3	5	4	1	3	3	3	4	5	3	3	44
眼科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
皮膚科	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	2	3	13
整形外科	0	2	1	1	0	0	4	9	1	1	2	2	23
歯科往診	16	8	15	11	20	9	11	10	7	12	12	5	136
精神科	4	1	0	2	0	1	3	1	0	2	2	1	17
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
泌尿器科	6	8	9	9	6	6	6	6	12	6	6	7	87
脳神経外科	0	1	1	3	1	0	0	0	0	0	1	1	8
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急搬送	3	3	1	2	10	3	0	0	11	0	1	0	34
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(名)	43	31	41	36	42	25	33	33	47	34	34	31	430

(参考)令和3年度 441件

2. 短期入所生活介護事業所みずほ苑

送迎時には検温、手指アルコール消毒、乗車中の換気、マスクの着用、毎日の検温にご協力いただき、安心して利用していただけるように努めました。また、今年度も健康チェックシートを活用し、ご自宅・ショートステイ利用時の健康管理に努めました。

(1)事業計画に挙げた重点目標に対する取り組み状況

① ご利用中の生活に楽しみがもてる機会を増やしていきます。

特養のご利用者と一緒に小規模ながら納涼祭、秋祭り、新年会や節分など季節に応じた行事を実施致しました。そのほか、中庭での散歩や貼り絵などの作品作り、また、共有スペースに本棚を準備し本や雑誌の種類を充実させ、少しでも楽しんでいただけるよう環境整備に努めました。

② ご家族・ケアマネとの連携を図り、サービスの質の向上に繋がります。

利用中変化があった際は、ご家族・ケアマネジャーに迅速に電話等で状態をお伝えすると共に、日常生活の様子についても連絡票等でお伝えし、施設と在宅での生活に連動性を持たせることを意識しました。

今年度は、利用者満足度調査を実施し、概ねご家族より好評価をいただくことができました。

今後も地域の方々が必要とされるサービスを提供できるように、ご家族、ケアマネジャーとの連携強化に努めます。

③ ベッド稼働率 96%以上を目標とし、社会資源の活用、経営の安定を図ります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、8月と9月、12月に受け入れを制限いたしました。今年度は97.2%と目標を上回ることができました。

また、特養空床ベッドの活用を前年度同様に進めました。空床情報に関しては居宅介護支援事業所へFAX や電話連絡等で情報を伝えるようにしました。

緊急ショートステイの受け入れも随時行いました。緊急の場合は少ない情報の中での受け入れとなりますが、ケアマネジャーや行政と速やかな連携を図り、安心してご利用いただくことができました。

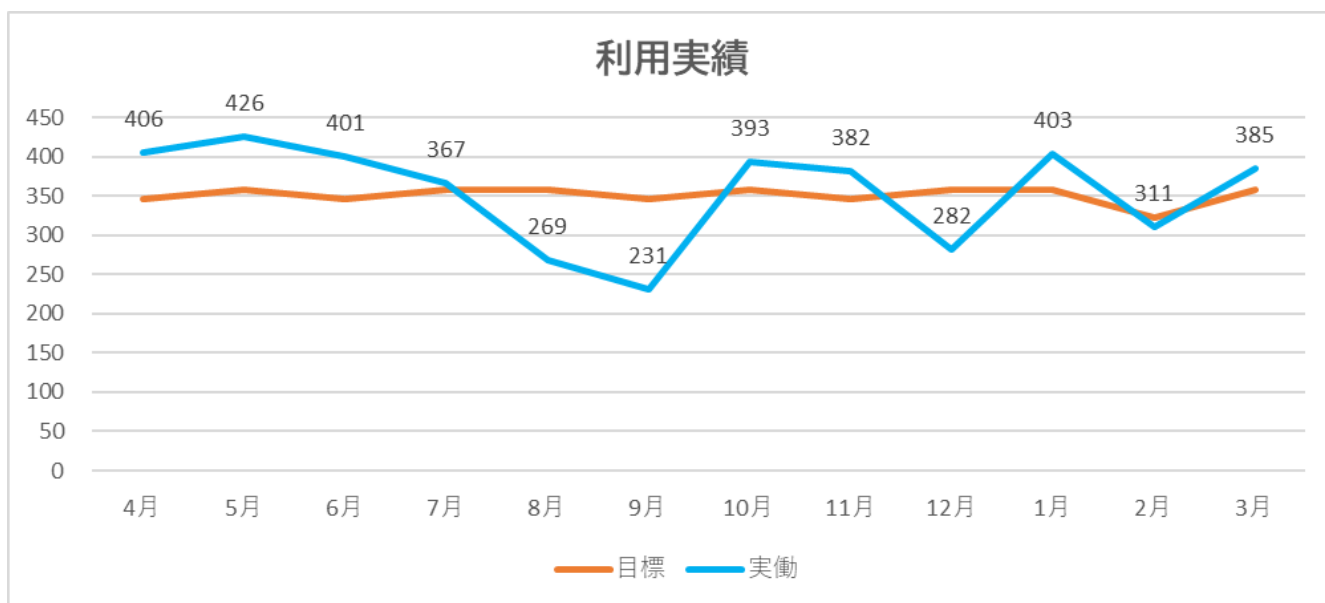


(2)利用実績

上半期						
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平均利用者数(人)	13.5	13.7	13.4	11.8	8.7	7.7
利用実人数(名)	32	32	29	30	23	21
平均要介護度	3.5	3.3	3.3	3.4	3.4	3.6
延べ人数(名)	406	426	401	367	269	231
稼働率(%)	113%	114%	112%	98%	73%	64%
下半期						
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均利用者数(名)	12.7	12.7	9.1	13.1	11.1	12.4
利用実人数(名)	24	25	20	27	26	25
平均要介護度	3.5	3.4	3.5	3.1	3.1	3.0
延べ人数(名)	393	382	282	403	311	385
稼働率(%)	106%	106%	76%	109%	93%	103%

令和4年度稼働率 97.2%

(参考)令和3年度稼働率 106.9%



(3)新規ショートステイ利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	6	5	3	3	0	4	0	0	4	5	3	5	38名
(参考)令和3年度	5	3	2	3	3	3	6	4	5	3	1	3	41名

(4)事故状況

① 事故の種類と件数

事故種別	件数	事故種別	件数
転倒	11 件	転落	10 件
誤嚥	2 件	誤薬・誤配	4 件
溺水	0 件	火傷	0 件
異食・誤飲	1 件	利用者の行為	0 件
感染症	3 件	離苑(無断外出)	0 件
職員の行為	0 件	その他	0 件
計			31 件

(参考)令和3年度 28件

※利用者の行為・・・利用者が他の利用者や職員、第三者への外傷などを生じさせたこと

職員の行為・・・介護中に利用者が受傷したこと

② 受傷内容

受傷内容	件数	受傷内容	件数
打撲	0 件	骨折	1 件
皮下出血	1 件	表皮剥離	1 件
その他	3 件	受傷なし	25 件
計			31 件



3. デイサービスセンターみずほ苑(通所介護)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、さまざまな制限があるなかで、木工クラブや麻雀クラブ、運動機能訓練など個別で実施する活動やオンラインを利用したレクリエーションなど新しい取り組みを実施しました。

12月には新型コロナウイルス感染者が発生したため、4日間営業を中止しました。引き続き換気の徹底など感染予防対策をとりながら、利用ができるようにしました。

(1)事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① ご利用者のニーズに合わせ、新たなプログラムの導入に取り組みます。

個別のニーズを把握する目的で、全利用者を対象に趣味や特技などの聞き取り調査を行いました。結果は「歌を歌う」、「演奏を聴く」、「楽器の演奏」など音楽活動への興味関心が上位となりました。しかし、音楽活動は感染リスクが高い活動として制限をしていたため、今年度は実施できませんでした。次年度は感染状況をみながら音楽活動にとりくみたいと思います。

また、苑敷地内にある畑で季節の野菜作りを行いました。収穫したサツマイモで焼き芋会を実施しました。

② ご家族とのより良い信頼関係を構築していきます。

ご家族にデイサービスの状況を知っていただくことで信頼関係を築けるように努めました。

具体的には、例年に引き続き、デイサービスの広報誌を毎月配布しました。広報誌に QR コードを掲載し、ホームページを見ていただくやすいように整備を行いました。法人のホームページ内の活動報告は毎週更新し、利用状況が分かるよう写真掲載を行いました。

家族交流会については感染症対策のためオンラインでの開催を予定していましたが、参加希望者が少なかったため、中止しました。来年度は実施できるよう内容や実施方法を検討いたします。

③ 地域貢献できる事業所として取り組みます。

ボランティアの受け入れ、地域の放課後デイサービスとの交流、地域向けのイベントを実施する予定でしたが感染症対策のために中止しました。

地域の児童館とオンラインで交流をしました。また、後日苑敷地内の畑を開放し、児童に大根収穫体験の機会を提供することができました。

自主サロン「きらく会」は、昨年同様お弁当の持ち帰りで実施しました。感染状況をみながら、年間9回開催しました。各回平均で10名程度の参加がありました。年間で8名新規で利用される方がおり、登録者は4月に12名でしたが年度末には20名になりました。また、開催時間が短いという意見があり、時間を30分延長して開催しました。

④ 運営方法の見直しと職場環境の向上に努めます。

法人内の会議等で地域の状況を意見交換した際に、総合事業のニーズが高いことがわかりました。来年度中に実施できるよう準備を進めることになりました。

(2)利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運営日数(日)	26	26	26	26	27	26	26	26	21	24	24	27	305
稼働率100%の 人数(名)	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	9,000
利用者人数(名)	710	720	728	742	699	621	589	523	363	463	413	508	7079
稼働率(%)	94.6	96.0	97.0	98.9	93.2	82.8	78.5	69.8	48.4	61.7	55.0	67.8	78.7%
1日平均人数(名)	27.3	27.7	28.0	28.5	25.9	23.9	22.7	20.1	14.5	19.3	17.2	18.8	22.9

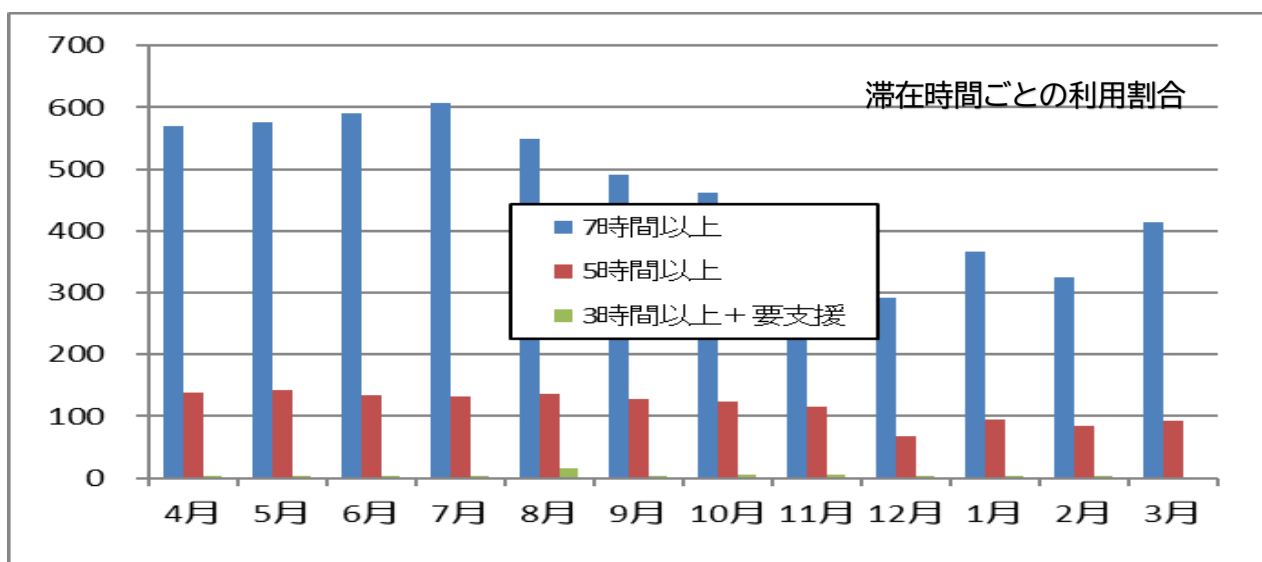
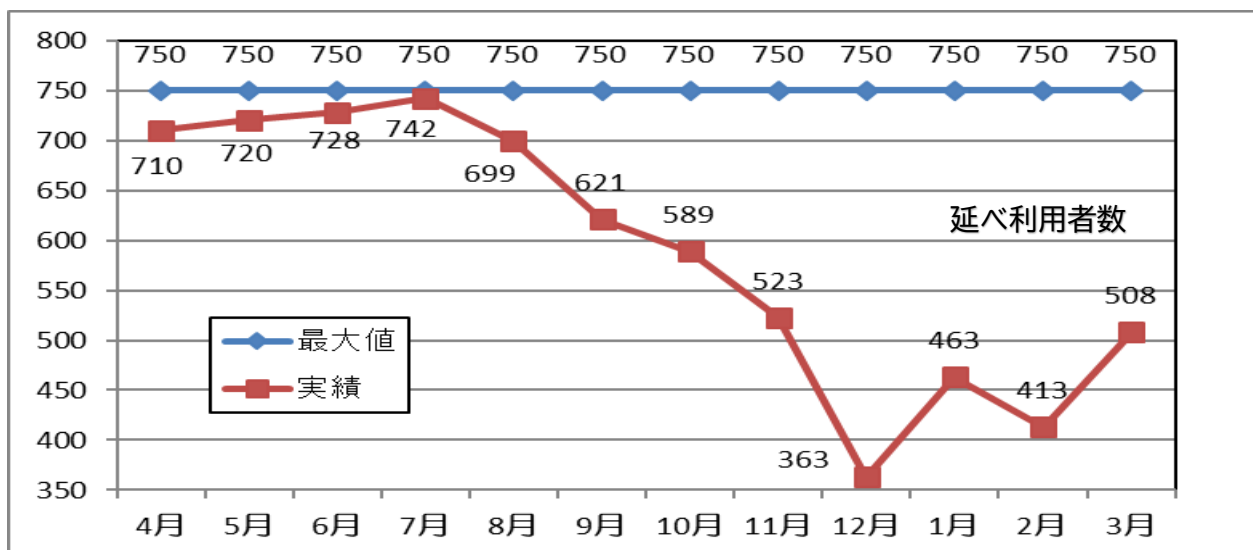
(参考)令和3年度稼働率 88.7%

※通常規模年間受け入れ最大人数(9000人)を12カ月で割り、1月あたり750人を稼働率100%で算定。

※介護報酬換算上の人数で利用者数を算定。

・7時間以上8時間未満「1」/5時間以上6時間未満「0.75」/3時間以上5時間未満及び要支援者「0.5」

※年間309日の営業を予定していたが、12月にデイサービスのご利用者より新型コロナウイルス感染者が発生したことにより、デイサービスを4日休業したため、年間305日の営業となりました。



■グラフからの分析

- 上半期は昨年の年度末に近隣のデイサービスが閉鎖になった影響で、ご利用者が増え、高い稼働率で運営できました。
- 下半期はご利用者のグループホームや有料老人ホームへの入所が続き稼働率が下がりました。
- 新型コロナウイルス感染者が11月～12月にかけて15名発生し、感染拡大防止として、営業を中止した日が4日間あり稼働率が一番低くなりました。
- 昨年度は年間稼働率が88.7%でしたが、今年度は78.7%と稼働率が下がりました。

(3)デイサービスセンター 利用者状況(令和5年3月31日現在)

① 年齢と要介護度区分

■平均年齢:85.4歳(73～98歳)(参考:令和3年度 85.7歳)

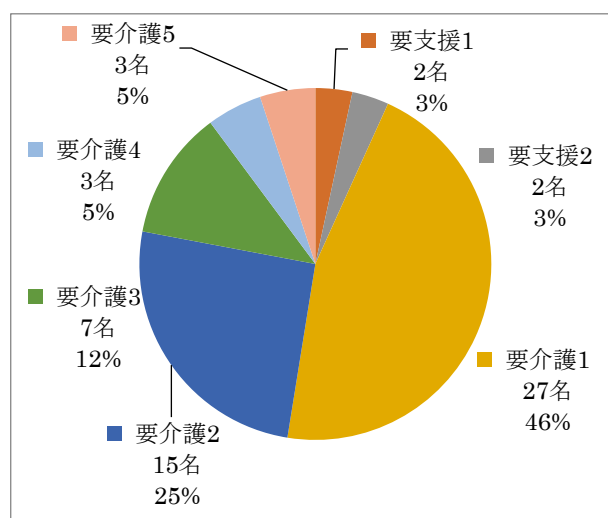
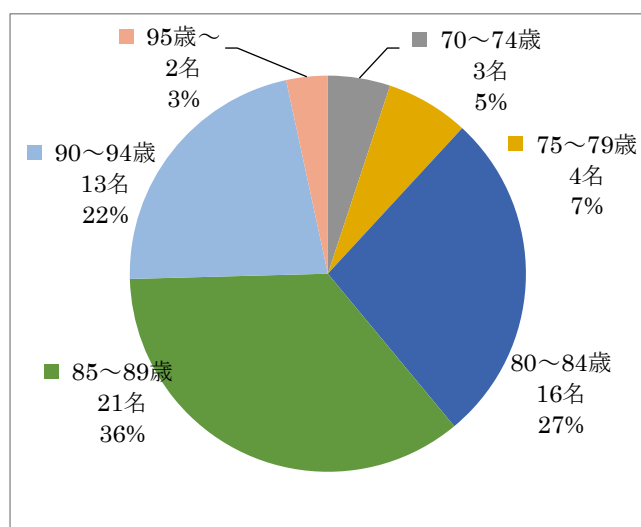
■平均要介護度:要介護1.85(参考:令和3年度 1.83)

■男女比:男性25%:女性75%(参考:令和3年度 男性28%:女性72%)

単位(名)

介護度 年齢	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
～ 64	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65 ～ 69	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70 ～ 74	0	0	0	3	0	0	0	0	3
75 ～ 79	0	0	0	2	1	1	0	0	4
80 ～ 84	0	0	1	8	2	2	0	3	16
85 ～ 89	0	1	0	9	6	2	3	0	21
90 ～ 94	0	1	1	4	5	2	0	0	13
95 ～	0	0	0	1	1	0	0	0	2
計	0	2	2	27	15	7	3	3	59名

(参考)令和3年度 74名



(4)活動実績

① 定期的に実施している活動の状況(年間)

活動内容	回数	活動内容	回数
お誕生日会	31回	裁縫の会	36回
温泉の日	72回	体操	393回
畑	32回	書道/硬筆	71回
脳活の日	67回	Facebook	34回
木工クラブ	21回	麻雀(2月～)	16回

② 行事の開催状況

	行事	個人制作/裁縫の会
4月	お花見	巾着袋、三角ペン立て
5月	中庭散策、菖蒲湯(3回) 大根種まき、安納芋苗植え	巾着袋、眼鏡立て 巾着染め
6月	体力測定 ジャガイモ・大根収穫	ハンカチ染、布染め
7月	七夕、水遊び 大根収穫	麦わら帽子マグネット バスマット
8月	夏祭り	うちわ、向日葵ブローチ
9月	敬老会、大根種まき 埼玉県創作品展出品	石の写真立て フェルト花
10月	運動会 さつまいも収穫	はちまき、フェルト花 石の置物、石の写真立て
11月	焼き芋 大根収穫	フェルトのコースター
12月	ゆず湯(3回)、クリスマス会 竹間沢児童館の児童と大根堀	干支(卯)の達磨 門松、バスマット
1月	初詣 新年会(1回)	におい袋、吊るし雛
2月	節分会	フェルトひな人形 吊るし雛飾り付け
3月	買い物ツアー(カスミ移動販売) ひな人形見学、桜の花見 里芋植え、大根種まき	レジンのストラップ チューリップのカード



(5)事故状況

① 事故の種類と件数

事故種別	件数	事故種別	件数
転倒	10 件	転落	1 件
誤嚥	0 件	誤薬・誤配	1 件
溺水	0 件	火傷	0 件
異食・誤飲	0 件	利用者の行為	1 件
感染症	15 件	離苑(無断外出)	1 件
職員の行為	2 件	その他	0 件
計			31 件

(参考)令和3年度 21件

※利用者の行為・・・利用者が他の利用者や職員、第三者への外傷などを生じさせたこと

職員の行為・・・介護中に利用者が受傷したこと

送迎車における車両事故	2 件
-------------	-----

(参考)令和3年度 4件

② 受傷内容

受傷内容	件数	受傷内容	件数
打撲	0 件	骨折	1 件
皮下出血	1 件	表皮剥離	1 件
その他	1 件	受傷なし	27 件
計			31 件

(6)ヒヤリハット件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10件	10件	6件	10件	4件	14件	8件	3件	6件	6件	7件	18件	102件

(参考)令和3年度 118件

■件数からの分析

- ・同じご利用者が認知症の症状で繰り返しの行動が続き、26件は杖を持たずに歩いてしまうなどの転倒や送迎中にシートベルトを外してしまうなどの利用者の行為がヒヤリハットの種類で多い状況でした。
- ・昨年度は入浴場でのヒヤリハットが33件と多かったですが床に滑り止めの対策を行い件数が20件と減少しています。引き続き対策を継続していきます。



4. 在宅介護支援センターみずほ苑(居宅介護支援)

(1)事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

- ① 特定事業所加算を取得している事業所として、介護支援専門員の資質の向上に努め、地域のモデル的な事業所を目指します。

ケアプランの変更時には、主任介護支援専門員によるケアプランチェックを行い、課題分析がしっかり行えているか、ご利用者のニーズや目標が適切に設定されているかなど確認をしました。また、年に4回(5、8、11、2月)はケアマネジメントに関する研修を行い、資質の向上に努めました。

昨年度に引き続き、毎月の運営会議時に各ケアマネジャーが輪番でミニ講義を実施しました。介護保険制度だけでなく、障害福祉や生活保護などの様々な制度、病気に関する知識など、自ら調べ学んだことを事業所内で共有することで、事業所全体のスキルアップにつながりました。来年度も引き続き行い、更なる資質の向上ができるよう取り組みます。

- ② 地域住民や利用者・家族介護支援を行います。

介護をする家族やご利用者への情報提供を目的として、支援センターニュースを年4回(5、8、11、3月)発行しました。

利用者のご家族及び地域住民を対象としたイベントを開催予定でしたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染予防を考え、中止としました。



- ③ 業務の効率化を図ります。

3つの業務マニュアルを作成し、業務の標準化に取り組みました。

コロナ禍のため、遠方のご家族にはオンラインを活用した面談などができていることを伝えていましたが、希望がありませんでした。サービス事業所や病院とはオンラインでの会議を行い、効率的にご情報共有やご利用者の支援を行うことができました。

- ④ 保健・医療・福祉関係機関との連携強化を図ります。

地域ケア会議に参加し、4事例を提出しました。また、関係機関、地域の団体主催の研修には積極的に参加をしました。

富士見市担当のケアマネジャーを置き、三芳町だけでなく富士見市の事業所との連携強化を行う予定でしたが、職員の産休で一時的にケアマネジャー数が減ったため、富士見市担当の配置ができませんでした。

(2)活動内容及び会議研修等出席状況

月	活動内容	会議・研修等出席状況(日付・場所)
4月		・地域ケア会議(13日・三芳町役場) ・三芳町ケアマネジャー研修会(27日・三芳町役場)
5月	・支援センターニュース発行 ・ケアプラン研修	・地域ケア会議(11日・三芳町役場) ・主任ケアマネジャーの会(12日・中央公民館) ・三芳町ケアマネジャー交流会(17日・中央公民館)
6月	・業務チェック ・事業所リスト更新	・三芳町ケアマネジャー研修(7日・三芳町役場) ・地域ケア会議(16日・ZOOM)

7月		・地域ケア会議(13日・三芳町役場)
8月	・支援センターニュース発行 ・ケアプラン研修	・地域ケア会議、ケアマネジャー研修(10日・三芳町役場) ・介護支援専門員更新研修(20日、27日・ZOOM)
9月	・台帳整理 ・業務チェック	・地域ケア会議(14日・三芳町役場) ・認知症に関わる事業所連絡会(21日・ZOOM)
10月	・自主点検	・地域ケア会議、ケアマネジャー研修会(20日・三芳町役場) ・介護支援専門員更新研修(29日・ZOOM)
11月	・支援センターニュース発行 ・介護サービス情報の公表 ・ケアプラン研修	・三芳町個別ケアプラン研修(1日・みずほ苑) ・地域ケア会議(9日・三芳町体育館) ・介護支援専門員実習指導者研修(12日、18日・ZOOM)
12月	・業務チェック	・介護支援専門員更新研修(19日、26日・ZOOM)
1月		・地域ケア会議、ケアマネジャー研修(11日・三芳町役場) ・認知症に関わる事業所連絡会(18日・ZOOM) ・三芳町入退院ルール説明会(19日・ZOOM) ・三芳町認知症施策推進会議(19日・ZOOM) ・三芳町認知症多職種協働研修(25日・ZOOM)
2月	・業務チェック ・ケアプラン研修	・三芳町災害時要援護者避難支援プラン説明会(8日・三芳町役場) ・介護等体験受入説明会(9日・ZOOM) ・地域ケア会議、ケアマネジャー研修(16日・三芳町役場)
3月	・支援センターニュース発行 ・ケアマネジャー研修会の開催 ・台帳整理 ・マニュアル見直し	・地域ケア会議(8日・三芳町役場) ・みずほ苑主催ケアマネジャー研修会(16日・みずほ苑) ・三芳町医療相談員、ケアマネジャー連絡会(22日・ZOOM)

(3)要介護度別給付管理年間実績

	利用者の 総数①	要介護状態区分						要介護 3~5 合計②	要介護3~5 の割合 ②/①×100
		要支援 1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	146	12(6)	54	43	22	14	7	43	29.45%
5月	143	14(7)	53	39	22	14	8	44	30.77%
6月	146	16(8)	54	39	21	16	8	45	30.82%
7月	139.5	13(6.5)	55	40	16	15	7	38	27.24%
8月	134	12(6)	52	39	17	13	7	37	27.61%
9月	129	2(1)	48	43	17	14	6	37	28.68%
10月	127	2(1)	47	41	19	14	5	38	29.92%
11月	126.5	1(0.5)	46	41	18	16	5	39	30.83%
12月	125.5	1(0.5)	49	39	16	15	6	37	29.48%
1月	119.5	1(0.5)	47	37	15	14	6	35	29.29%
2月	113	2(1)	48	33	13	13	5	31	27.43%
3月	112	2(1)	47	32	14	13	5	32	28.57%
合計	1561	78(39)	600	466	210	171	75	456	29.18%

(参考)令和3年度 1,664件

※要支援1、2は利用者1名を0.5名で計算

5. 地域包括支援センターみずほ苑みよし

(1) 事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① 住民や民生委員からの相談が年間70件になる。

三芳町広報に毎月「介護・認知症の相談窓口」として掲載しました。そのほか、町が作成した地域包括支援センターの案内チラシを新規訪問先で利用者等に配布・説明を行いました。町が作成したポスターの掲示依頼のためスーパー、コンビニ等に出向き、周知活動を行いました。

民生委員定例会に出席し、民生委員との意見交換会を2回開催(共催を含めると3回)し、連携強化を図りました。

総合相談事業において民生委員からの相談が21件、知人・隣人からの相談が36件、合計57件ありました。



② ケアマネジメント支援の機会が年間80件となる。

地域ケア会議にファシリテーターとして参加、協力を行い、関係機関との連携強化に努めました。

委託ケースについては、ケアプランや評価表の確認を積極的に実施しました。ケアプラン修正の必要がある場合は事業所内で協議してから指導にあたりました。

2包括で協働し居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に個別研修を実施しました。

支援困難ケースでも適切に対応するために、職員間で情報共有し、それぞれの専門性を活かした連携が図れるよう、週1回以上ケース検討を実施しました。

ケアマネジャーからの相談は年間で延べ86件(昨年78件)ありました。

③ 実態把握が年間200件となる。

独居・高齢世帯等、特に気になるケースに関しては月1回実態把握を実施しました。感染症予防のため電話での確認を基本とし、必要に応じて訪問で確認しました。年間で288件(昨年169件)実態把握を行いました。

④ 感染症や災害への対応力を強化します。

昨年作成した「要援護者リスト」を年2回更新しました。また、法人内の避難訓練等に参加しました。

業務継続計画(BCP)を作成しました。

○会議等参加状況

会議等名	日程・回数等	備考
地域ケア会議	毎月1回	司会担当:6回
地域包括連絡会	毎月1回	
地域自立支援協議会 相談支援部会	年1回	
生活支援体制整備推進協議体	年9回	
認知症地域支援推進委員連絡会	年3回	
認知症に関わる事業者連絡会	年2回	

○事業等実施・参加状況

事業等名	日程・回数等	参加者数	備考
介護者交流会	7/14	4名	他共催2回
	12/7	3名	
認知症サポーター養成講座	5/24	9名	他共催1回
	9/15	7名	
民生委員と包括職員をつどい	6/9	5名	他共催2回
	10/8	7名	

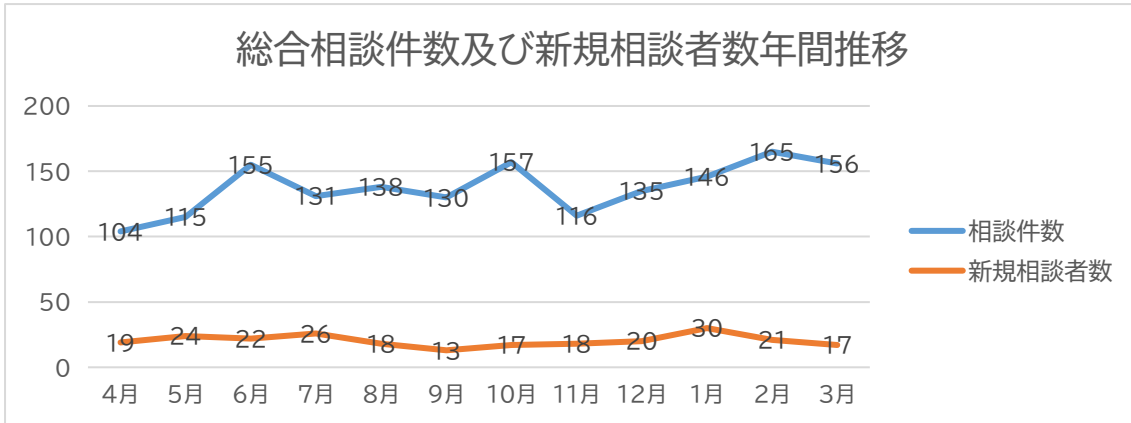
(2)総合相談支援事業

年間相談件数は1,648件(昨年1,286件)。昨年度より362件多くなっています。

新規の相談者数は年間245件(昨年206件)となっています。昨年度より39件多くなっています。

総合相談年間実績(実態把握件数を含む)

	相談 件数	新規 相談 者	相 談 方 法					相 談 者(複数回答可)				
			電話	訪問	来所	文書	その他	本人	家族	民生 委員	関係 機関	知人・ 隣人
4月	104	19	61	31	6	0	6	38	51	1	39	3
5月	115	24	63	41	5	0	7	48	62	0	42	2
6月	155	22	83	57	7	0	8	80	80	2	36	1
7月	131	26	79	38	7	1	6	49	72	0	45	0
8月	138	18	82	42	6	0	8	63	65	1	49	3
9月	130	13	76	38	6	0	10	53	66	1	45	2
10月	157	17	100	44	9	0	5	69	70	0	48	3
11月	116	18	79	23	3	0	11	35	50	1	42	2
12月	135	20	84	34	9	0	8	48	62	2	43	8
1月	146	30	91	37	10	0	8	58	74	2	45	3
2月	165	21	98	55	8	0	4	64	108	0	43	3
3月	156	17	87	56	6	0	7	73	83	0	57	2
合計	1,648	245	983	496	82	1	88	678	843	10	534	32



(3)介護予防ケアマネジメント事業・指定介護予防支援事業

年間の給付管理数は包括直営が 1,098 件(昨年 882 件)、委託が 566 件(昨年 487 件)でした。地域包括支援センターとしての役割・機能を強化するために、ケアマネジメント業務とのバランスを図りました。

	令和3年度		令和4年度	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
包括直営プラン	882 件	64%	1,098 件	66%
居宅委託プラン	487 件	36%	566 件	34%
合計	1,369 件	100%	1,664 件	100%



6. グループホームみずほ苑(認知症対応型共同生活介護)

(1)事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① 認知症ケアの向上を図り、ご利用者への支援の質を高めます。

認知症ケアの向上を図るため、外部研修に参加しました。参加した職員が全体会議内で伝達研修を行い、職員間で共有を図りました。また、コロナ禍の影響により、ご利用者の外出の機会が減ったことで下肢筋力低下と認知機能の低下による介護事故が多くなり、リスクマネジメントの勉強会を実施しました。

ご利用者への支援では、ご利用者の経験を活かせるようにベランダで家庭菜園を行いました。季節ごとの花や野菜を栽培し、季節感を感じることができました。収穫できたものは料理に活用しました。家庭菜園はご利用者の生活の楽しみのひとつになっています。

② 楽しみある行事を企画し、笑顔があふれる生活が送れるように支援します。

コロナ禍のため、直接の交流が制限されるなか、少しでも地域との交流がもてるようにしました。オンラインを活用して、学童や保育園、富士見市社会福祉協議会によるマジックショーを楽しむことができました。保育園とオンラインで交流するのは初めてでしたが、園児が縄跳びをする姿を見て笑顔で楽しませていました。

また、外食も自粛していましたが、食のイベントを定期的に楽しめるように、出前やおやつバイキング、セレクトランチを行いました。また恒例になっている味噌作り、新生姜作り、梅干し作り、秋さんま会、干し柿、おせち作り、干し芋と柚ハチミツ作りなどを行いました。

外出行事は感染状況をみながら、人ごみを避けるなど感染対策を講じて、桜や紫陽花、菖蒲の花見や屋上での花火、紅葉、芋掘りなど季節ごとの行事を実施することができました。

③ ご家族と協力してご利用者を支援します。

1月に家族交流会を実施しました。今年度もコロナ禍のため、オンラインでの開催となり、3組のご家族が参加されました。利用満足度調査(アンケート)集計結果の報告や感染症対策について説明をしました。また、家族間での意見交換を行うことができ、とても有意義な交流の場となりました。

コロナ禍で面会が思うようにできないなか、ご家族へ日ごろの活動の様子を伝えたいと考えて5月は直筆による写真付きお手紙、9月は書道や編み物など、12月には年賀状を作成し送りました。

面会については、コロナ禍により感染状況をみながら制限と緩和を繰り返し、オンラインでの面会とアクリル板越しでの対面面会を行いました。

④ 職員の技術向上と職場環境の向上に取り組みます。

挨拶など基本的な事を改めてきちんと行うために、「接遇を取り入れた朝礼」を行い、接遇の向上に努めました。各々が改めて接遇の大切さを意識するようになり、ご利用者への声掛けや接し方について積極的な意見が出るようになりました。

利用者の重度化に伴い、排泄介助やトランスファー、食事介助の勉強会を開催しました。軽度の方が多いグループホームでは身体介護の場が少ないため、苦手意識を持っている職員もいます。勉強会を通して安心して行えるようになりました。

また、2か月に1回環境点検を行い、5S活動の定着化を図り職場環境の向上に努めました。

(2)グループホーム入居実績

上半期							
ユニット/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
秋桜	入居(名)	0	0	0	0	0	0
	退居(名)	0	0	0	0	0	0
	入院(延べ人数)(名)	0	0	20	9	4	0
菜の花	入居(名)	0	0	0	0	0	0
	退居(名)	0	0	0	0	0	0
	入院(延べ人数)(名)	0	0	14	0	0	27
延べ人数(名)		540	540	558	506	549	554
稼働率(全体)(%)		100%	100%	100%	93.7%	98.3%	99.2%
下半期							
ユニット/月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
秋桜	入居(名)	1	0	0	0	0	1
	退居(名)	1	0	0	0	0	1
	入院(延べ人数)(名)	0	2	12	0	0	19
菜の花	入居(名)	0	0	0	0	0	0
	退居(名)	0	0	0	0	0	0
	入院(延べ人数)(名)	0	0	0	21	0	0
延べ人数(名)		556	556	538	546	533	504
稼働率(全体)(%)		99.6%	99.6%	99.6%	97.8%	95.5%	100%

令和4年度稼働率 97.88%

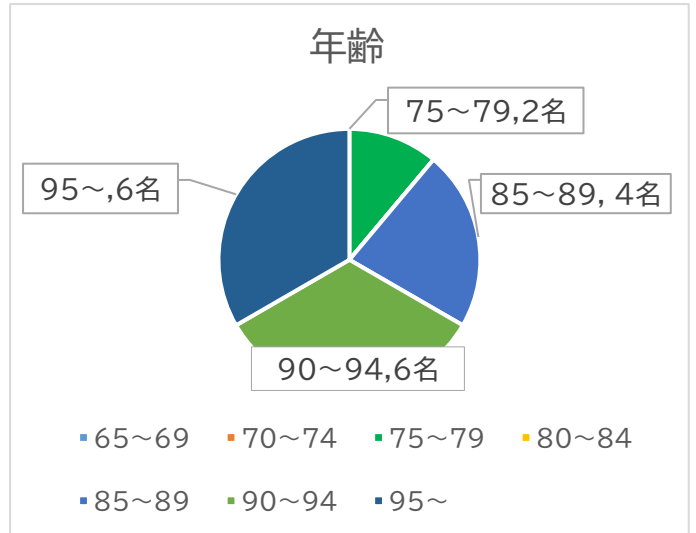
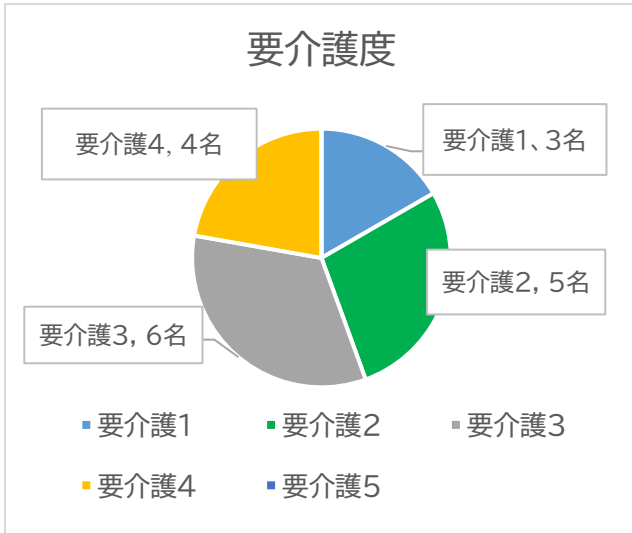
(参考)令和3年度稼働率 97.92%

(3)グループホームの利用者状況(令和5年3月31日現在)

① 年齢と要介護度区分

単位(名)

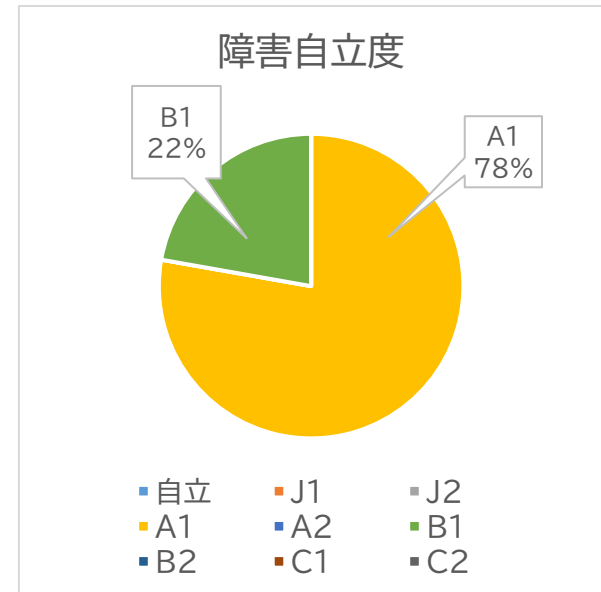
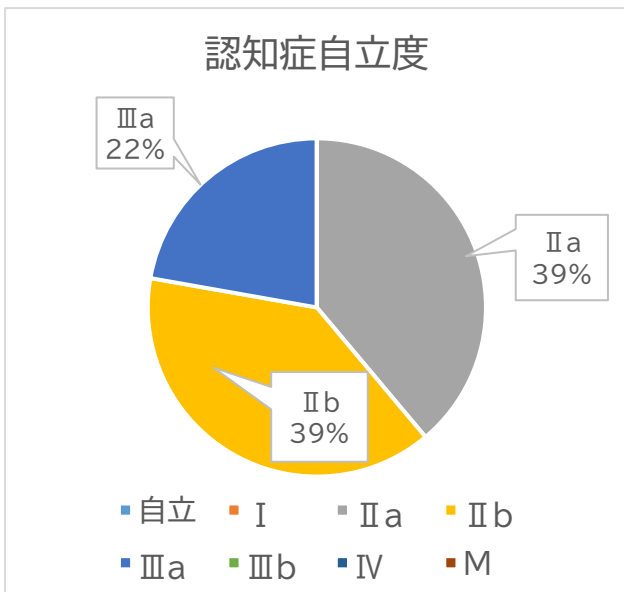
	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
70 ~ 74	0	0	0	0	0	0	0
75 ~ 79	0	0	1	1	0	0	2
80 ~ 84	0	0	0	0	0	0	0
85 ~ 89	0	1	1	1	1	0	4
90 ~ 94	0	1	1	2	2	0	6
95 ~	0	1	2	2	1	0	6
計	0	3	5	6	4	0	18名



② 認知症自立度と障害自立度

単位(名)

認知症自立度/障害自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IIa	0	0	0	6	0	1	0	0	0	7
IIb	0	0	0	4	0	3	0	0	0	7
IIIa	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
IIIb	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	14	0	4	0	0	0	18名



(4)グループホームの活動実績

月	内容	回数	内容	回数
4月	手作りおやつ	1回	桜のお花見	1回
	じゃんけんレク	2回	脳トレ	3回
	外気浴	2回	ハンドマッサージ	2回
	壁画	1回	手作りうどん	1回
5月	手作りおやつ(柏餅など)	7回	誕生会	1回
	セレクトランチ	1回	風船バレー	1回
	壁画(あじさい)	2回	野菜直売所買い物	1回
	菖蒲湯	4回	新生姜の甘酢漬け作り	1回
	かるた、オセロ、パズル、お手玉	2回	刺し子	1回
	屋上ベランダで苗植え	1回	らっきょう作り	2回
6月	おやつ作り	1回	七夕飾り作り	2回
	ベランダでおやつ	1回	日光浴	2回
	菖蒲、紫陽花ツアー	1回	野菜直売買い物	7回
	壁画	8回	梅ジュース作り	1回
	新生姜の甘酢漬け作り	1回	じゃんけんゲーム	4回
7月	おやつバイキング(かき氷)	5回	ゴミ箱作り	1回
	壁画作成	3回	塗り絵、計算ドリル	5回
	野菜直売買い物	1回	七夕クッキング	1回
	パズル、お手玉	3回	日光浴	1回
	梅干し作り	1回	七夕(飾り、クッキング)	2回
	学童交流会	1回	ハンドマッサージ	1回
	誕生会	1回	じゃんけんゲーム	5回
8月	手作りおやつ	7回	縁日	1回
	壁画	4回	誕生会	2回
	手作りふりかけ	1回	野菜収穫	1回
	屋上で花火	1回	刺し子	6回
	梅干し作り	1回	パズル、計算	4回
9月	手作りおやつ(お月見団子など)	4回	紅葉ツアー	1回
	壁画作成	3回	塗り絵	6回
	敬老会	1回	出前	1回
	お月見	1回	日光浴	1回
	オンラインマジックショー	1回	誕生会	1回
10月	芋ほり	1回	焼きさんま会、バーベキュー	1回

	誕生会	1回	セレクトランチ	1回
11月	干し柿作り	1回	ボール遊び	1回
	塗り絵・パズル	2回	散歩・外気浴	2回
	紅葉ツアー	2回	おやつバイキング	1回
12月	手作りおやつ	1回	かるた	1回
	忘年会	1回	しりとり	1回
	クリスマス会	1回	柚子湯	3回
	クリスマスリース作り、ツリー飾り	3回	柚子ハチミツ作り	1回
	大掃除	1回	おせち作り	1回
1月	家族交流会	1回	干し芋	1回
	壁画	6回	苑内初詣	1回
	正月遊び(福笑い、かるた等)	1回	七草がゆ	1回
	お節(正月)	1回	保育園交流会	1回
	新年会	1回	誕生会	1回
2月	七草粥	1回	セレクト食(ラーメン)	1回
	おやつ作り(バレンタインクッキング)	1回	塗り絵	2回
	壁画	6回	トランプ、かるた	2回
	節分、豆まき	1回	刺し子、縫い物	1回
	誕生会	1回	日光浴	1回
3月	折り紙	1回	誕生会	2回
	おやつ作り	1回	雛祭りクッキング	1回
	壁画作成	6回	塗り絵	4回
	桜の花見	2回	お手玉	1回

*その他:買い物・体操・簡単なレクリエーションなどは日常的に実施しています。

*定期的な行事は下記の通りです。

定期行事

回数	内容
39回	書道
12回	散髪
5回	出前の日
24回	フラワーアレンジメント
10回	手打ちうどん
2回	おやつバイキング
36回	温泉の日
18回	ハンドマッサージ



(5)グループホーム事故状況

① 事故の種類と件数

事故種別	件数	事故種別	件数
転倒	51 件	転落	3 件
誤嚥	0 件	誤薬・誤配	6 件
溺水	0 件	火傷	0 件
異食・誤飲	0 件	利用者の行為	0 件
感染症	0 件	離苑(無断外出)	0 件
職員の行為	0 件	その他	1 件
		計	61 件

(参考)令和3年度 26 件

※利用者の行為・・・利用者が他の利用者や職員、第三者への外傷などを生じさせたこと

職員の行為・・・介護中に利用者が受傷したこと

② 受傷内容

受傷内容	件数	受傷内容	件数
打撲	12 件	骨折	3 件
皮下出血	3 件	表皮剥離	0 件
その他	2 件	受傷なし	41 件
		計	61 件

(6)グループホームサービス評価について

令和3年度より、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)において、「評価機関による外部評価」もしくは「運営推進会議を活用した評価」のいずれかを選択することが可能となりました。みずほ苑では今年度より運営推進会議を活用した評価を行っています。サービス評価とは、認知症対応型共同生活介護事業所が提供するサービスの質の向上を図ること、評価結果を公表することで利用者がサービスを適切に選択することを目的としたものです。

「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準(第97条7項)」に規定するもので、事業所は年に1度、評価を受けることが義務づけられています。

令和4年度は外部評価の実施回数の緩和の年となっております。令和5年度に実施予定となります。



7. 小規模多機能ホームみずほ苑(小規模多機能型居宅介護)

(1) 事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① 事業所を中心に住み慣れた地域で日常生活を営むことが出来るように支援します。

今年度は訪問体制の強化を図るため、訪問サービスについての勉強会を実施しました。訪問ニーズが少なかつたため訪問体制の強化までには至りませんでした。引き続き利用者のニーズや必要性に合わせて、アプローチを行い在宅生活の継続ができるよう支援していきます。

また、通い、訪問、宿泊などのサービスに加え、配食、洗濯、電話での安否確認等の事業所の特性を活かした多様な支援で住み慣れた地域で日常生活を営むことが出来るよう支援しました。

また、その方に合った地域資源の活用を考えるため、地域活動への参加状況や興味関心について聞き取りを行いました。コロナ禍で地域の活動が制限されていますが、地域資源に繋がられるよう支援していきます。

② 地域との交流や地域活動への参加を図ります。

今年度はオンラインを活用して保育園との交流を図りました。また、富士見市社会福祉協議会ボランティアセンターから紹介を受け、オンラインのマジックショーに参加しました。引き続きオンラインを活用したボランティアを受け入れ、対面でのボランティアの受け入れも検討していきたいと思っております。

また、季節を感じて頂けるよう感染状況を見ながらの地域の展覧会への参加や外出行事を行いました。

③ ご家族との連携に努め、一緒にご利用者を支えられる関係をつくりまします。

事業所内で新型コロナウイルス感染症が発生したため、通いサービスを止め訪問サービスに切り替え、ご家族と密に連絡を取り合い、ご利用者の在宅生活の支援を致しました。また体調に変化があったご利用者に対してご家族と連携し訪問サービスによる健康観察や生活支援を重点的に実施し、在宅生活を支えました。

モニタリングやサービス担当者会議の場に介護職員も同席し、介護職員から日頃の状況を直接説明することで、こまかな情報共有に努めることができました。

今年度も利用満足度調査を実施し、概ね満足しているとの回答を頂きました。引き続きサービスの向上に努めていきます。

④ 職員の技術向上と業務内容の見直しに取り組みます。

今年度は下肢筋力低下の予防や認知症緩和を目的としたレクリエーションの種類を増やしました。ボールを使った体操やレクリエーションの実施、認知症緩和のためのハンドケアの実践をしました。ハンドケアの実践は開始したばかりのため次年度も引き続き実践していきます。

介護技術や認知症ケアの勉強会を開催し学びを深め、技術の向上に取り組みました。また、清潔で整理整頓された居心地の良い空間となるよう5S担当を決め、職場環境の向上に努めました。

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携を図り、年間稼働率90%となりました。次年度は登録者数を増やし、稼働率も安定できるよう努めていきます。

(2)小規模多機能ホーム登録数目標と実績

① 登録者数の推移及び実績(令和5年3月31日時点) ※登録定員25名 ※月末登録者数

上半期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録人数(名)※	21	23	22	23	23	24
新規利用者数(名)	0	2	2	1	0	1
終了利用者数(名)	3	0	3	0	0	0
延べ人数(名)	546	664	793	793	774	838
登録稼働率(%)	84%	92%	88%	92%	92%	96%
下半期						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数(名)※	24	22	22	23	21	21
新規利用者数(名)	1	1	0	1	0	0
終了利用者数(名)	1	3	2	0	2	0
延べ人数(名)	856	735	682	744	702	797
登録稼働率(%)	96%	88%	88%	92%	84%	84%
令和4年度稼働率 90%						

(参考)令和3年度稼働率 89%

② サービス別(「通い」「訪問」「宿泊」「その他」)実績

単位(名)

	上半期						下半期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通い(延べ人数)	161	193	214	211	203	226	230	192	187	205	182	219
訪問(延べ人数)	385	471	579	582	571	612	626	543	494	539	520	578
宿泊(延べ名数)	2	3	5	4	3	4	7	6	5	5	5	9
その他(延べ人数)	52	34	38	61	60	30	37	20	31	25	43	53

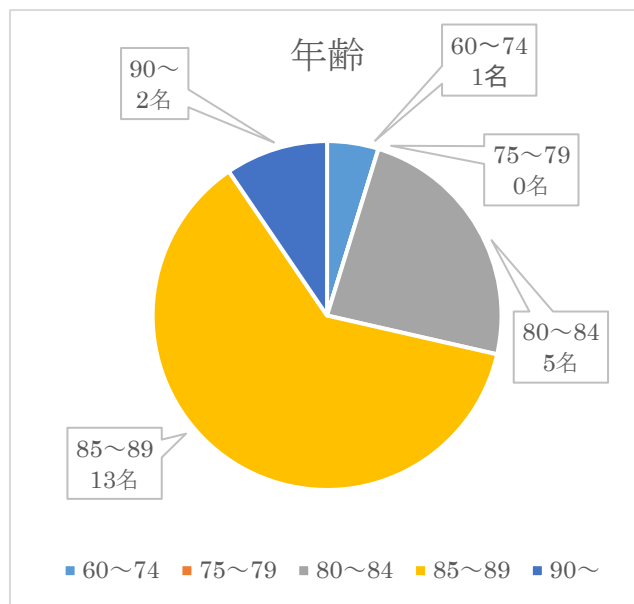
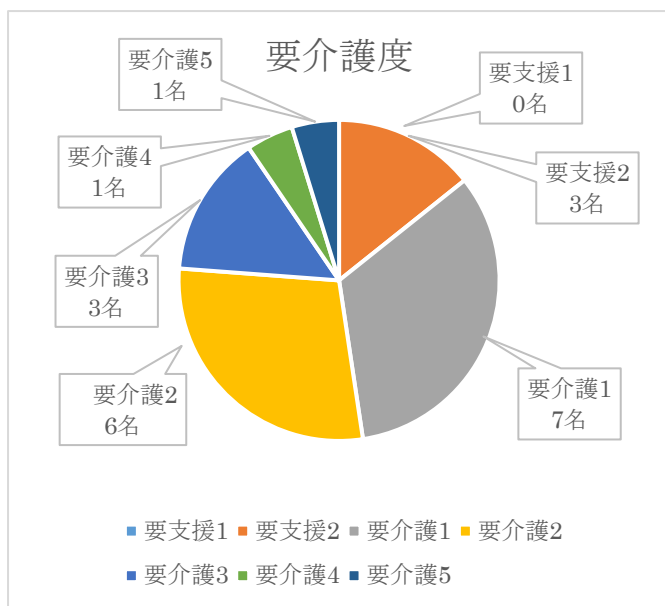
*「その他」は電話での安否確認等の介護サービス利用回数に含まれないサービス

(3)小規模多機能ホームの利用者状況 (令和5年3月31日現在)

① 年齢と要介護度区分

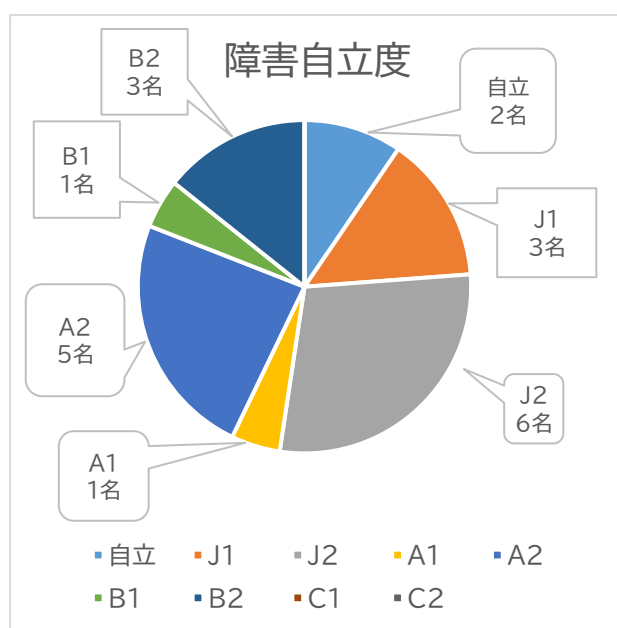
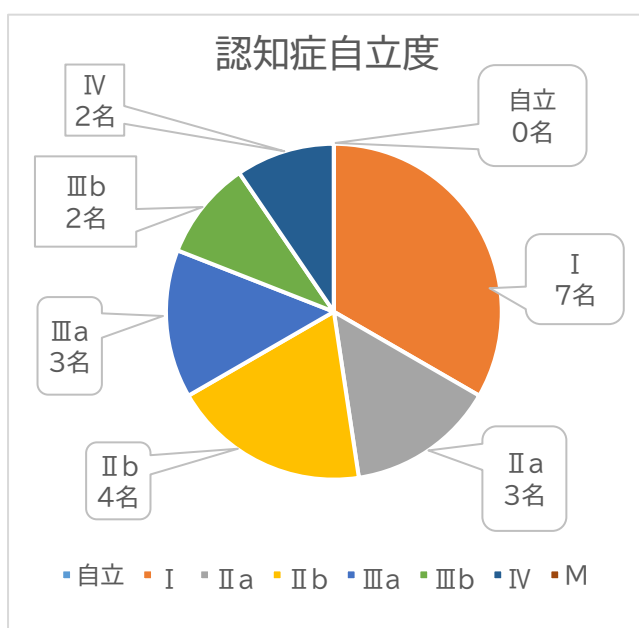
単位(名)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
60 ~ 74	0	0	0	0	1	0	0	1
75 ~ 79	0	0	0	0	0	0	0	0
80 ~ 84	0	1	2	1	1	0	0	5
85 ~ 89	0	1	5	5	1	0	1	13
90 ~	0	1	0	0	0	1	0	2
計	0	3	7	6	3	1	1	21名



② 認知症自立度と障害自立度

認知症自立度/障害自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I	1	2	2	0	1	1	0	0	0	7
Ⅱa	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
Ⅱb	0	0	2	0	2	0	0	0	0	4
Ⅲa	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3
Ⅲb	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
Ⅳ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	3	6	1	5	1	3	0	0	21名



(4)小規模多機能ホーム活動実績

月	内容	
4月	畑仕事(草むしり・土壌づくり)	
5月	畑仕事(夏野菜の植え)	畑仕事(いちご狩り)
	菖蒲湯	
6月	畑仕事(豆類収穫)	梅ジュース作り
	畑仕事(おかわかめ収穫)	
7月	七夕飾り付け、布染め制作	七夕クッキング
8月	布染め制作	学童交流会(オンライン)
9月	敬老会(当日通いの方のみ)	お月見クッキング
10月	サンマ炭火焼き(2日間)	畑仕事(みょうが収穫)
	さつま芋堀り(はやし農園)	芋スイーツ作り
11月	多間院散策(紅葉見)	銀杏拾い
	芋スイーツ作り	
12月	クリスマス会	柚子湯
	貝塚公園散策	大掃除
1月	習字(書初め)	初詣(氷川神社)
	鏡開き(おしるこ作り)	新年会(当日通いの方のみ)
	こばと保育園交流会(オンライン)	
2月	節分(レク)	畑仕事(土壌改良)
3月	畑仕事(耕し、草取り)	菜の花・桜花見ドライブ
	お雛様クッキング(桜餅)	苺大福作り
	畑仕事(ふきのとう収穫)	落味噌作り

*その他(体操、口腔体操、散歩、畑作業、脳トレ、製作(季節物)、運動系レクリエーションなど、日常的に実施)

(5)小規模多機能ホーム事故状況

① 事故の種類と件数

事故種別	件数	事故種別	件数
転倒	3 件	転落	0 件
誤嚥	0 件	誤薬・誤配	2 件
溺水	0 件	火傷	0 件
異食・誤飲	0 件	利用者の行為	0 件
感染症	3 件	離苑(無断外出)	0 件
職員の行為	0 件	その他	1 件
合計			9 件

(参考)令和3年度 4件

※利用者の行為・・・利用者が他の利用者や職員、第三者への外傷などを生じさせたこと

職員の行為・・・介護中に利用者が受傷したこと

② 受傷内容

受傷内容	件数	受傷内容	件数
打撲	0 件	骨折	0 件
皮下出血	0 件	表皮剥離	0 件
その他	5 件	受傷なし	4 件
		計	9 件

送迎車における車両事故	3 件
-------------	-----

(参考)令和3年度 7件

(6)小規模多機能ホーム サービス評価について

小規模多機能ホームのサービス評価は、「自己評価」と「外部評価」の2つからなります。

その作業は… ①「自己評価」については、管理者等が中心になり、事業所内のスタッフ全員で行います。

②「外部評価」については、運営推進会議のメンバーと一緒にいきます。③評価結果の公表については、利用者及び利用者家族へ提供するとともに、「介護サービスの情報公表制度」に基づく介護サービス情報公表システムでの公表、事業所内への掲示、市町村窓口や地域包括支援センターに置いておく等により公表する仕組みとなっています。

以下のスケジュールで進めました。

項目	日程
「スタッフ個別自己評価」配布	R4.4/18
「スタッフ個別自己評価」回収	R4.5/1
「事業所自己評価」の実施(ミーティング)	R4.5/2～5/18
運営推進会議の開催 「サービス評価」の説明 「事業所自己評価」と「地域かかわりシート」用紙の配布	R4.5/19
運営推進会議の開催 「地域かかわりシート」用紙の回収 「事業所自己評価」「地域かかわりシート」から意見の聴取	R4.7/21
評価の公表・評価の提出	R4.12/5

なお、サービス評価への参加者は行政の代表・地域住民・家族・学識有識者・地域包括支援センター職員の5名です。



8. 富士見市地域包括支援センターみずほ苑

(1) 事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① 総合相談件数が2000件になるように努めます。

今年度は新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、チラシの配布による周知活動に加え、訪問による実態把握を徐々に増やしてきました。年に2回、70歳以上の高齢者世帯(300世帯以上)に対して地域包括支援センターのチラシを配布し、高齢者世帯を集中的に訪問、声掛けを行いました。そのため、昨年より400件多く相談があり、目標の2000件を達成することができました。

② ケアラー支援について柔軟に対応できる体制を整えます。

ケアラー支援の体制を整えるため、若い世代、働いている世代からの相談に柔軟に対応できるよう、ホームページ上にケアラー支援の相談窓口を設ける予定です。今後周知活動についても行っていきます。

また、各職員がヤングケアラー研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めるとともに、介護者教室でケアラー支援の講座を行うなど周知活動にも取り組みました。今後、ヤングケアラー支援については、学童クラブ・小・中学校等とも連携が図れると良いと思っています。

③ 業務の標準化と職員の資質向上に努めます。

各業務のマニュアルについて、見直し修正しました。また、整備ができていない業務マニュアルについて担当を割り振り、作成をしました。未作成のマニュアルについては次年度も計画を立てて作成を進めていこうと思っております。

相談員研修では法人内部の相談職が集まり、「聞く技術・伝える技術」を学びました。専門職としての技術を意図して使えているかなど、日頃の相談業務についての振り返りや気づきにつながりました。また、多職種研修・外部の研修に各職員が積極的に参加をし、専門的な知識を学びました。多職種研修では、様々な職種の視点、知識を共有することができました。

④ 感染症・災害への対応力を強化します。

地域の一人暮らしの方に「救急連絡カード」を配布し、何かあった時の連絡先・かかりつけ医などを明確にし、関係者間で情報共有を図りました。

また、要援護者リストを作成し、災害時など緊急事態に活用できるよう整えました。BCPの作成については今年度完成に至らなかったため、引続き着手するとともに職員間で共有できるよう努めていきます。

(2) 活動報告

① 地域ケア会議

日付	会議名	出席者	内容
5/23	地域ケア圏域会議	15名	孤独死を防ぐ地域づくり
1/23	地域ケア圏域会議	14名	地域のサロン活動の現状と課題
7/15	地域ケア個別会議	14名	富家在宅支援センター:M氏 2事例提出
10/21	地域ケア個別会議	17名	すてっぷ:K氏 2事例提出
2/17	地域ケア個別会議	12名	つなぐ:M氏 2事例提出

6/21	介護予防支援地域ケア会議		包括から2名事例提出
12/27	介護予防支援地域ケア会議		包括から1名事例提出

*新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域ケア圏域会議は2回のみ開催

② 介護者教室

5/9	介護技術の基本	関沢みずほ苑	3名
11/11	ケアラー支援のために	関沢みずほ苑	11名

③ 認知症カフェ

4/19	針ヶ谷コミュニティセンター	3名
6/23	関沢集会所	5名
8/16	針ヶ谷コミュニティセンター	1名
10/18	関沢集会所	4名
12/20	針ヶ谷コミュニティセンター	1名
2/22	関沢集会所	6名



④ 認知症地域支援推進員

9/16・9/17	オレンジダイヤル	12:00~16:00
6/22	市内5包括合同開催による認知症サポーター養成講座 (富士見高校)	14:00~15:30
6/24	市内5包括合同開催による認知症サポーター養成講座 (三芳郵便局)	10:00~11:30
7/27	市内5包括合同開催による認知症サポーター養成講座 (富士見市サポーターキッズ中学生向け講座)	14:00~15:30
8/3	市内5包括合同開催による認知症サポーター養成講座 (富士見市サポーターキッズ小学生向け講座)	14:00~15:30
9/2	市内5包括合同開催による認知症サポーター養成講座 (傾聴ボランティアやまぶき)	10:00~11:30
10/15	認知症サポーターステップアップ講座	13:00~14:30
11/18	認知症サポーター養成講座(民協 高齢者部会)	10:00~11:30
2/15	座談会	14:00~15:30

⑤ ケアマネ研修会

10/12	ケアプラン作成のポイント	Zoom	参加者:76名
-------	--------------	------	---------

⑥ 出前講座

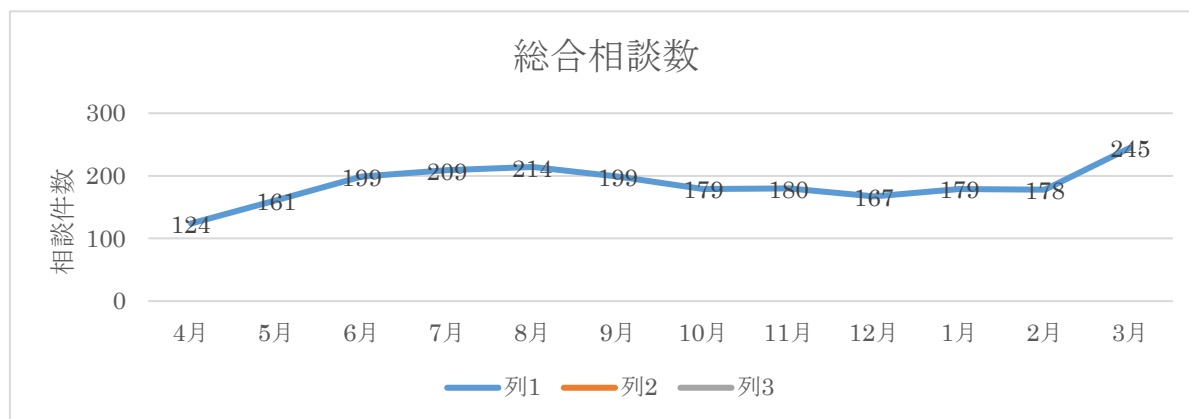
9/29	熟年クラブ「施設の種類について」	びん沼荘	参加者:20名
------	------------------	------	---------

(3)総合相談支援事業

年間相談件数は「電話」1,453件、「来所」134件、「訪問」648件でした。昨年度と比較して、全体的に相談件数が増えています。

月	相談件数計	相談方法			相談者(複数回答可)			
		電話	来所	訪問	本人	家族	知人	関係機関
4月	124	79	6	39	42	34	1	47
5月	161	109	9	43	52	37	5	64
6月	199	133	12	54	58	65	4	72
7月	209	136	15	58	61	59	0	86
8月	214	141	8	65	78	38	6	92
9月	199	131	9	59	67	65	4	63
10月	179	106	17	56	60	57	1	61
11月	180	118	13	49	59	71	2	48
12月	167	114	9	44	48	57	3	59
1月	179	114	13	52	63	42	1	73
2月	178	109	9	60	65	41	6	66
3月	245	163	14	69	81	58	3	103
合計	2,235	1,453	134	648	734	624	36	834

(参考)令和3年度 1,836



(4)介護予防ケアマネジメント事業・指定介護予防支援事業

年間の給付管理数は、包括直営のプランが892件(昨年841件)、委託プランが463件(昨年493件)で昨年度より、給付管理数が増えています。

	令和3年度		令和4年度	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
包括直営プラン	841件	63%	892件	66%
居宅委託プラン	493件	37%	463件	34%
合計	1,334件	100%	1,355件	100%

9. 健康係(看護)

(1)事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① 施設における看護業務の充実に努め、健康管理を中心にご利用者の生活を支えます。

令和4年度は西館の嘱託医変更がありました。回診時以外にも電話やメールで密に連絡を取り合い、急変した利用者への対応も連携しながら行いました。

健康診断(10月)、歯科健診(12月)を実施し、ご利用者の健康管理に努めました。

令和4年度は延べ48名の方が入院されています。新型コロナウイルス感染症での入院を除くと肺炎が原因で入院される方が多くいらっしゃいました。このことを踏まえ、嘱託医にも相談しながら介護職を巻き込んだ肺炎防止に向けた取り組みを検討していきたいと思ひます。

ヒヤリハットの件数を上げるため、用紙の見直しを行い、毎月の運営会議内で共有し、事故防止に取り組みました。日付の間違いやセットミスなどの薬の間違ひは直接利用者自身に関わる大きな問題です。今後も引き続き注意していきたいと思ひます。

看取り体制の強化にも努め、看取り指針の見直しを行い、エンゼルケアについては介護職の意見も取り入れながら手順や物品の見直しを行いました。また、年間を通して介護職に看取りの研修も行いました。

② 美咲会全体の健康管理を適切に行います。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、特養、デイサービス、短期入所、小規模多機能など様々な事業所で感染者が発生しましたが、新型コロナウイルス対策本部会議などでの情報収集や情報の共有を図り、多種職連携で迅速な対応を行いました。

その結果、大規模なクラスター発生には至りませんでした。

また、職員に関しても全員が記入している健康チェックシートを毎月確認し健康状態の把握に努めました。



③ 業務の標準化と職員の資質向上に努めます。

オンデマンド配信も含め、看取りや口腔ケアの外部研修をそれぞれが受講しました。埼玉県看護協会から派遣された認定看護師による研修は介護職の主任やリーダーも参加し摂食嚥下障害のある方の看護を学びました。実践に繋がる様なケアの提案もあり、利用者の生活に活かせればと考えています。

昨年度同様、介護職の医療知識向上のため運営会議内での研修も行いました。

マニュアル作成は項目毎に分担し作成しましたが、引き続き次年度も業務の標準化を目指して取り組みたいと思ひます。



10. 栄養係

(1)事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① 多職種と連携して、低栄養状態等の予防・改善に取り組みます。

定期的なカンファレンスの参加だけでなく、ご利用者の状態に合わせ介護・看護・相談とご利用者の栄養について打ち合わせをして、低栄養にならないように食事形態や食事量について検討や見直しをこまめに行いました。

食事提供量を適正にすることで残菜が減り、食事に係る時間が減少しご利用者、介護職員、厨房職員の負担がそれぞれ軽減されるメリットがあることが分かりました。

また、栄養ケアマネジメントについては、栄養ソフトの導入で個々の栄養状態が数値で把握できるようになりました。次年度も多職種と連携し栄養ケアのPDCAサイクルを実施していきます。

② 食生活の充実に努めます。

年間計画に沿って郷土料理や埼玉県民グルメなどのイベント食の提供をしました。今年度は新しくB級グルメを取り入れることで料理や地域の幅がひろがり、ご利用者が楽しめる食事の提供をすることができました。また、毎月パティシエの手作りスイーツを提供し、あんみつや季節のフルーツを使用したスイーツは特にご利用者の皆様に喜んでいただけました。

新規施設開設に伴うセントラルキッチンでの新調理方法(クックチル)の実践に向けて、運営方法、収支計算、人員配置などの検討をしました。次年度はレシピ作成など稼働に向けて準備を整えます。

③ 地域の方に美咲会の味を知っていただく活動をします。

コロナ禍のためにテイクアウトに限定されましたが、地域サロンの実施の際にはお弁当、こども食堂の際にはスイーツで美咲会の味を提供することができました。次年度も継続して美咲会の味を発信できるよう努めます。

④ 美咲会全体の健康管理・衛生管理を適切に行います。

昨年度に引き続きHACCPによる衛生管理を行いました。食材の入荷からご利用者へ配膳されるまでの食材の状態や温度などを記録し管理することを徹底しました。さらにHACCPについての勉強会を実施し厨房内で理解を深め衛生管理の重要なポイントを再確認することができました。

また、法人内で新型コロナウイルス感染者が発生した際には、必要に応じてディスプレイ食器での提供や予定献立の変更をするなどの対応をしました。

⑤ 業務の標準化と職員の資質向上に努めます。

マニュアルの精度を上げるために、四半期ごとに見直すマニュアルを決めて取り組みました。衛生管理に関するマニュアルは適正な時間と頻度で衛生管理ができる仕組みづくりについて厨房職員全体で検討し、無駄な作業を見直して、時間は短く、衛生管理を徹底して行えるようになりました。

法人理念研修では、厨房内での研修とは違う雰囲気や他部署の職員と楽しみつつ、真剣に理念に向き合い積極的に研修に取り組みました。次年度も幅広い分野の研修に参加し自己研鑽に努めます。

(2)主な季節献立・行事など

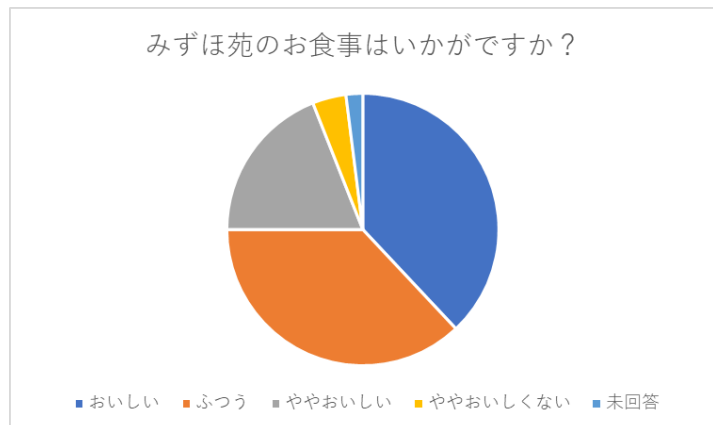
月	日	季節献立・行事など
4月	1日	郷土料理の日(山梨県)ほうとう
	13日	埼玉県民グルメ(行田市)ゼリーフライ
	22日	季節の献立(たけのこ御飯～三芳町竹間沢産のたけのこ使用)
	27日	パティシエ手作りスイーツ(いちごヨーグルトムース)
5月	1日/5日	季節の献立(にぎり寿司)/季節の献立(かしわ餅)
	7日	パティシエ手作りスイーツ(バナナケーキ)
	18日	郷土料理の日(愛媛県)今治焼豚玉子飯
	26日	埼玉県民グルメ(所沢市)焼きだんご
6月	4日	郷土料理の日(兵庫県)そばめし
	10日	季節の献立(番外編)スペイン料理(パエリア・スペイン風ポテトサラダ)
	17日	パティシエ手作りスイーツ(小豆ゼリー)
	28日	埼玉県民グルメ(秩父市)くるみそば
7月	7日/23日	季節の献立(七夕そうめん)/土用の丑の日(うな丼)
	8日	埼玉県民グルメ(三芳町)竹間沢産の採れたて枝豆
	17日	納涼祭(屋台メニュー)焼きそば
	18日	郷土料理の日(大阪府)肉吸い、かやくごはん
8月	1日	埼玉県民グルメ(北本市)北本トマトカレー
	17日	パティシエ手作りスイーツ(桃のヨーグルトムース)
	25日	郷土料理の日(沖縄県)ゴーヤチャンプルー
9月	5日	パティシエ手作りスイーツ(マラーカオ)
	10日	季節セレクトメニュー(お月見メニュー)月見バーガーor 月見ハンバーグ
	16日	埼玉県民グルメ(小川町)忠七めし
	27日	郷土料理の日(栃木県)佐野らーめん
10月	2、3日	埼玉県民グルメ(三芳町)焼きびん
	12日	季節の献立(秋の味覚メニュー)鮭わっぱ飯、たっぶりきのこ汁
	21日	郷土料理の日(群馬県)峠の釜めし
	31日	パティシエ手作りスイーツ(ハロウィンかぼちゃプリン)
11月	3日	郷土料理の日(新潟県)イタリアン
	17日	パティシエ手作りスイーツ(ゴマのブラマンジェ)
	20日	季節の献立(秋まつりメニュー)三芳町「富の川越芋」を使用した焼き芋
	30日	埼玉県民グルメ(川越市)芋づくし御膳
12月	2日	パティシエ手作りスイーツ(ココアケーキ)
	8日	埼玉県民グルメ(上尾市)スタカレー
	19日	郷土料理の日(富山県)赤まま

	24日	季節の献立(クリスマスメニュー)ビーフストロガノフ
	31日	季節の献立(大晦日)年越しそば
1月	7日/11日	季節の献立(七草がゆ)/鏡開き(おしるこ)
	9日	パティシエ手作りスイーツ(あんみつ)
	15、16日	季節の献立(手作りおせち料理)
	11日	季節の献立(おしるこ)
	25日	郷土料理の日(北海道)海鮮丼
	31日	埼玉県民グルメ(三芳町)ヨネザワ製菓の工場直売シュークリーム
2月	3日	季節の献立(節分)恵方巻
	11日	埼玉県民グルメ(山田うどん)パンチ定食
	21日	郷土料理の日(秋田県)稲庭うどん
	26、27日	パティシエ手作りスイーツ(ポテトドーナツ)
3月	3日	季節の献立(ひなまつり)ちらし寿司
	9日	郷土料理の日(佐賀県)シシリアンライス
	15日	パティシエ手作りスイーツ(豆腐のレアチーズケーキ)
	27日	埼玉県民グルメ(鴻巣市)十万石饅頭

(3)嗜好調査結果

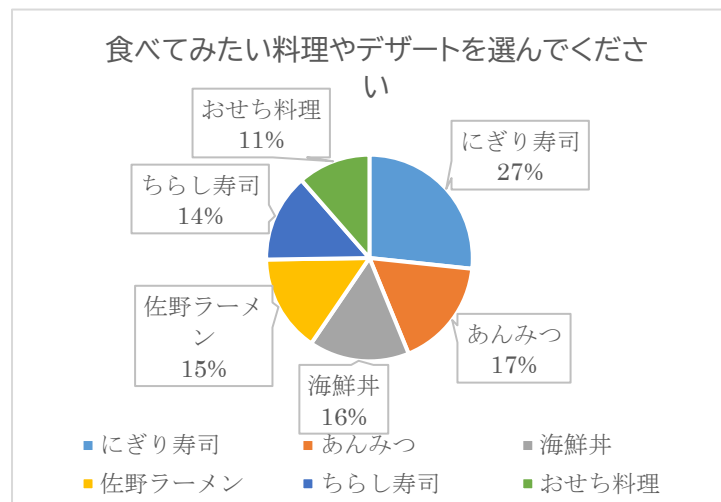
① 嗜好調査結果 1(食事評価)

おいしい	38%
ふつう	37%
ややおいしい	19%
ややおいしくない	4%
未回答	2%



② 食べてみたい料理やデザートを選んでください

にぎり寿司	56票
あんみつ	36票
海鮮丼	33票
佐野ラーメン	32票
ちらし寿司	29票
おせち料理	24票



11. 三芳町認知症サポートセンター

(1)事業計画にあげた重点目標に対する取り組み状況

① 認知症サポーター養成講座修了者を180人増やします。

認知症サポーター養成講座は、定期開催15回、出張講座は5回開催しました。163名の養成(達成率91%)となりました。



② 認知症サポーターステップアップ講座修了者を40人増やします。

認知症サポーター養成講座の修了者を対象に、更にステップアップし、地域で活動できるサポーターを養成するための講座を実施しました(年4回)。24名の養成(達成率60%)となりました。

③ チームオレンジメンバー登録者を40人増やします。

ステップアップ講座の修了者はチームオレンジメンバーとなれます。チームオレンジメンバーは認知症の方とその家族に寄り添い、ともに歩む伴走者です。

チームオレンジ説明会を4回実施しました。新規でオレンジメンバーに20名登録(達成率50%)されました。年度末で計39名の方がメンバー登録されています。



④ 認知症ケア相談が年間36件となるように努めます

認知症ケアの相談窓口を週に1回(水曜日)予約制で開設し、認知症の人やその家族からの相談を受けました。必要に応じて関係機関と情報を共有しました。

相談件数は26件(達成率72%)でした。

⑤ 認知症カフェを開催します。

「常設型」「イベント型」「企業サポート型」の3つの型で認知症カフェを運営しました。

常設型「オレンジカフェみよし」は、拠点建物にて水曜午前・木曜午前・午後の週に3回営業(開設)し、地域の誰もが気軽に足を運べ、認知症の人やその家族が相談員に安心して相談できる場となるように設置しました。令和4年度は三芳町との協議により、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、飲食の提供は行いませんでした。年間131回の開催で、延べ204名の参加となっています。

イベント型では、認知症サポーター養成講座+認知症の対応方法についての寸劇の内容で実施しました。4回開催し、21名の参加となっています。

企業サポート型では、町内のカフェ事業者等にご協力いただき、カフェの店内に相談員を派遣し相談や周知活動に努めることを計画し、令和4年度は1回実施しました。



⑥ 関係者の連携推進に関する事業を実施します。

町内の認知症にかかわる関係機関同士の連携の推進に努めました。

地域ケア会議には、12回(月1回)アドバイザーとして出席しました。認知症地域支援推進員会議、認知症に関わる事業所連絡会(と、その世話人会)、ケアラーケア連絡会議に参加しました。また、若年性認知症講演会では開催を支援するとともに、パネリストとして登壇しました。

⑦ その他、研修事業等を実施します。

介護支援専門員や介護サービス事業所等の職員を対象に認知症ケアにおける多職種協働に関する研修会を実施しました。

1月25日(水)13:30~15:00 に、埼玉県オレンジ・チューター・森本氏と、埼玉県オレンジ大使の渡邊様を講師に招き、「若年性認知症とチームオレンジ」というテーマでオンライン研修会を実施しました。当日の参加者は18名でした。その後、当日参加できなかった事業所や職員の方へ向け、録画配信を実施しました。



三芳町
Miyoshi Town

三芳町認知症サポートセンター
(愛称: 三芳町オレンジサポートセンター)

認知症になっても安心して暮らせるよう支援します

「物忘れが気になるな...どこへ相談したらいいのかな?」

介護方法が欲しい。

高齢者・認知症の方

「介護の悩みを相談したい、他の方はどうしているのかわからない?」

「認知症について学びたい!」

「認知症について学びたい!」

ご家族・介護者

「認知症について学びたい!」

「認知症について学びたい!」

町民・ボランティアさん

認知症ケア相談事業	
認知症介護、認知症の方との関わり方について相談ができます。介護福祉士・社会福祉士の資格を持ったチームオレンジコーディネーターが、相談に応じます!	例えば... <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近何度も同じ話を繰り返す ・ お手洗いの場所がわからない ・ 財布を落とされたと疑われてしまう ・ ぼくの言葉が聞こえない ・ 道に迷ってしまう などの相談が寄せられています。
相談日: 水曜日 10:00~16:00 (要予約)	認知症サポーター養成講座 認知症についての理解を深めて頂くように、認知症サポーター養成講座を実施します。また、養成講座終了の方を対象に、ステップアップ講座を実施します。
オレンジカフェみよし オレンジカフェとは、認知症の方やご家族、地域の方、どなたでもご参加頂ける「集いの場」です。 <small>(1階は高齢者や認知症の方の相談コーナーです)</small>	団休・企業・店舗への、出張講座のご依頼も受け付けています。
開催日: 水曜日 10:00~12:00 木曜日 10:00~12:00 水曜日 14:00~16:00	団休・企業・店舗への、出張講座のご依頼も受け付けています。

■連絡先

三芳町認知症サポートセンター
 (愛称: 三芳町オレンジサポートセンター)
 〒354-0041
 埼玉県久喜市三芳町藤久保 27-9
 (精神障害者小児発達支援センター)

年末年始、祝祭日を除いた 平日(月~金) 8:30~17:15
※月曜日: 全館は設備等で職員不在の場合がございます。

ホームページはこちら

☎: 049-259-2525
 FAX: 049-274-3366
 ✉: orange@miyoshitown.com
 〻: https://miyoshitown.com/



12. 生計困難者に対する相談支援事業、その他

(1) 生計困難者に対する相談支援事業(彩の国あんしんセーフティネット事業)

令和4年度の彩の国あんしんセーフティネットの相談件数は1件でした。

三芳町社会福祉協議会より相談があり、母子家庭に対して電気代の支払い、食料品の支援を行いました。



(2) 衣類バンク事業(衣類提供事業)



地域住民や職員のご家族から寄付いただいた子ども用の衣類をお預かりし、一点一点梱包して埼玉県社会福祉協議会に提供しています。

ホームページを見て、寄付希望で問い合わせして下さる方も増えてきております。令和4年度は39点の衣類を提供しました。

今後、この事業をさらに広めていくために、案内用のビラを活用して保育園や学童などに周知活動を行っていきたいと考えております。



(3) こども食堂「あにマート」

令和4年度は昨年に引き続き、お弁当配布を行っています。ボランティア5~6名を中心に調理を行い、合計862食のお弁当を配布いたしました。昨年度より利用する方が増えました。今後は、施設開放の方向性も検討していきたいと考えております。

開催日	売数	開催日	売数
4月16日	76食	10月15日	73食
5月21日	70食	11月19日	69食
6月18日	67食	12月17日	67食
7月16日	76食	1月21日	75食
8月20日	70食	2月18日	70食
9月17日	72食	3月18日	77食
合計	862食		

(参考)令和3年度 413食



13. 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業

(1)外国人技能実習制度

①ベトナム

令和4年度は、ベトナムからの技能実習生2名が、特別養護老人ホーム(従来型)にて3年目の実習を継続しました。第2号技能実習終了(6月)にともない、1名は、美咲会での経験を活かし特定技能1号で他施設へ就職。もう1名は、引き続き美咲会に特定技能1号で12月まで勤務したのち母国ベトナムへ帰国しました。

■ベトナム人技能実習生の監理組合による巡回等の実施状況など〈管理団体:みらい協同組合〉

日にち	内容
4/29	組合巡回・指導
5/15	組合巡回・指導
6/7・30	組合巡回・指導



②モンゴル

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、海外からの入国ができない状況が続いていましたが、美咲会としては第2期となる技能実習生2名(モンゴル)の受け入れを6月より開始しました。1月には、2年目・3年目の技能実習を継続するための必須要件である介護技能実習評価試験(初級)を受験し、2名ともに合格しました。

■モンゴル人技能実習生の ZOOM 面談の実施状況など 〈管理団体:公益財団法人国際労務管理財団(I.P.M)〉

日にち	内容
6/6	実習生配属・生活支援手続き
7/15	組合巡回・指導
9/21	組合巡回・指導
10/28	組合巡回・指導
1/13	介護技能実習評価試験(初級)受験
1/27	組合巡回・指導
2/16	組合巡回・指導
3/27	組合巡回・指導



③外国人技能実習機構による監査(実地指導)

外国人技能実習生の受入にともない、定期的に(3年に1回)実施される外国人技能実習機構による監査(実地指導)が初めて美咲会でも実施されました。結果は、指導事項及び改善事項の指摘は特にありませんでした。

14. 新規事業

(1)(仮称)特別養護老人ホーム 上沢みずほ苑

令和3年度の埼玉県老人福祉施設設立計画書の審査において認められた特別養護老人ホームの創設の計画は、今年度開設準備室を立ち上げて準備を進めました。

計画上工事進捗20%を確保することとなっておりますが、ウッドショック・アイアンショックによる建築資材の高騰、円安による輸入価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢による燃料高騰、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けて建築費が急激に高騰しているといった非常に厳しい状況のなか、入札が不調となり、計画通りには進みませんでした。法人内での検討をはじめ、さまざまな機関との調整を経て、年度末に工事業者との契約を締結し、着工を迎えることができました。

令和6年度の開設に向けて工事を進めるとともに、申請・手続き関係や入居者・スタッフの募集、業務の確立などを着実に実施していきます。

■経過・活動報告

日にち	内容
4/22	特別養護老人ホーム等整備事業費県費補助金補助協議書 補助内示
6/24	県へ老人福祉施設設立計画書の一部変更届出書提出
7/11～8/24	法人内にて施設名公募のための選考委員募集 →施設名募集期間設定
9/5	令和4年度特別養護老人ホーム等整備事業費県費補助金交付決定通知受理
9/5	県へ老人福祉施設設立計画書の一部変更届出書提出
9/7	理事会にて施設名決定（仮称）ハレサクとなる
9/12	県へ一般競争入札について実施報告提出
10/24	埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費補助金交付申請(定借一時金)交付決定受理
11/4～11/8	施設長研修 スクーリング
11/9	入札実施 →不落 →再入札準備へ移行
11/14	県へ入札結果報告書提出
12/16	県へ一般競争入札について実施報告提出
2/2	入札実施 →不落 →随意契約へ移行
2/8	県へ入札結果報告書提出
2/27	独立行政法人福祉医療機構 借入申込受理票発行
3/9	独立行政法人福祉医療機構 貸付内定通知書受理
3/16	工事施工業者と工事請負契約締結 →着工
3/20	県へ工事着工報告書、社会福祉施設整備台帳提出
3/22	埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費補助金 実績報告書提出
3/22	令和4年度特別養護老人ホーム等整備事業費県費補助金の年度終了実績報告書提出
3/28	協調融資先と金銭の相互支払に関する契約証書締結
3/31	令和4年度特別養護老人ホーム等整備事業費県費補助金交付額確定通知書受理
【その他の活動】 設計、設計コンサル、法人でのデザイン会議(月1回開催) / 看板、スマホバナー広告等での周知活動 / コンcept決め→マンガラート作成→コンceptシート作成 / ホームページリニューアル(11月) / 準備室移動(12月末) / 採用コンサルと契約し、採用活動実施 等	

Ⅲ 研修等報告

1. 法令等研修(内部研修)の開催・参加状況

実施月	研修内容	参加人数				
		特養	デイ	居宅	GH	小多機
5月	身体拘束の適正化に関する研修①(虐待防止含む)	40	10	—	19	6
6月	認知症及び認知症ケアに関する研修	39	10	3	19	6
	感染症及び食中毒の発生予防及びまん延の防止に関する研修①	39	10	—	—	—
7月	事故の発生及び再発防止に関する研修①(入浴事故防止に関する研修含む)	36	10	—	17	6
8月	記録に関する研修	36	—	—	—	—
	プライバシー保護に関する研修	36	11	2	16	6
9月	非常災害時の対応に関する研修	36	11	—	16	6
10月	緊急時の対応研修(救急法)	38	10	0	0	—
	感染症及び食中毒の発生予防及びまん延の防止に関する研修②(ノロウイルス発生時の対応に関する研修含む)	38	—	—	16	5
11月	身体拘束の適正化に関する研修②(虐待防止含む)	38	—	—	16	—
	看取りに関する研修	38	—	—	—	—
12月	褥瘡予防に関する研修	38	—	—	—	—
	権利擁護に関する制度の理解と活用に関する研修	—	—	—	16	6
1月	摂食または嚥下障害に関するケアの研修	39	—	—	—	—
2月	倫理及び法令順守についての研修	39	10	3	16	6
3月	事故の発生及び再発防止に関する研修②(服薬介助に関する研修含む)	36	—	—	—	—

2. 外部研修受講状況

	①研修	②自己啓発	③自己研鑽	計
特養	12名	0名	2名	14名
デイ	7名	0名	0名	7名
居宅	3名	5名	10名	18名
包括みよし	36名	0名	0名	36名
GH	15名	0名	11名	26名
小多機	16名	0名	6名	22名
包括ふじみ	15名	5名	0名	20名

健康栄養	23名	0名	1名	24名
経営企画室	8名	0名	0名	8名
合計	135名	10名	30名	175名

(参考)令和3年度 174名

*すべて述べ人数

3. 職種別研修

令和4年度も集合またはオンラインにて苑内の研修を実施しました。

(1)介護

実施日	内容	参加人数
6/23	白十字オムツの研修	14名
10/19・10/20	公益社団法人 日本介護福祉士会 第29回全国大会	2名
11/22	進化する排泄ケア～快適な排泄ケアを目指して	12名

(2)看護

実施日	内容	参加人数
11/11	口腔ケアの基本と実践	7名
11～2月	介護施設における看取り研修	7名
2/24	摂食嚥下障害のある利用者への対応	6名

(3)相談

実施日	内容	参加人数
4/25	相談援助技術研修 伝える技術①	9名
5/25	相談援助技術研修 伝える技術②	7名
6/27	相談援助技術研修 伝える技術③	9名
9/26	相談援助技術研修 共感する技術①	8名
10/24	相談援助技術研修 共感する技術②	8名
11/22	相談援助技術研修 共感する技術③	7名
12/26	相談援助技術研修 質問する技術①	8名
1/23	相談援助技術研修 質問する技術②	9名
2/27	相談援助技術研修 質問する技術③	9名

(4)栄養・調理

実施日	内容	参加人数
7/25	食中毒予防についての研修	12名
3/27	非常災害時の食事提供に関する研修	12名

4. 職階別研修

(1)採用時研修

実施日	内容	参加人数	場所
4/1	<ul style="list-style-type: none"> ・美咲会の基本理念／組織理解と福祉従事者 ・職場のルール、マナー、規程について ・キャリアデザインとセルフマネジメント ・美咲会各部署の説明 ・新型コロナウイルス対策について(ガウンテクニック) ・適正検査について 	12名	みずほ苑
5/1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束及び高齢者虐待防止 ・認知症の理解 ・プリセプターシップについての説明 	2名	みずほ苑
6/1	<ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥・誤飲予防対応方法／接遇方法 ・高齢者の終末期介護方法／2カ月の振り返り 	2名	みずほ苑

(2)キャリア入職者(中途入職)研修

年度の途中で入職した職員に対して必要な研修を所属長が実施しました。

実施日	内容	参加人数
8/3	特別養護老人ホーム	3名
9/29	特別養護老人ホーム	1名
12/26	特別養護老人ホーム	1名

5. 法人理念に対するワールドカフェの開催

昨年度法人理念のリブランディングに取り組んだものを今年度は「ビジョンブック」にまとめました。完成したビジョンブックを活用し、全職員を対象にコミュニケーションの場をつくることを目的にしたワールドカフェを開催しました。法人理念を解釈して自らの言葉で語り、さらに同僚が言語化した内容を聞いて納得をし、理念に対する共感の場となりました。

【前期日程】

実施日	10/31	11/9	11/24	11/29	12/7	12/16	12/20	1/10
参加人数	6名	12名	19名	11名	14名	19名	9名	27名

【後期日程】

実施日	1/18	1/26	2/2	2/17	2/28	3/7	3/23
参加人数	12名	8名	13名	15名	19名	12名	12名

6. 事業計画の振り返りの実施

各事業所の事業計画の進捗状況を管理するため、6月(上半期)と12月(下半期)に「振り返り」を実施しました。また、年間を通じた達成度の評価を年度が終了した翌年度4月に実施しました。参加者は副施設長、該当部署の係長及び主任と他部署の係長で実施することで、法人内の連携強化を図りました。

Ⅵ 職員について（法人全体）

1. 令和4年度入職・退職の状況

単位(名)

	正職員	準職員	パート1	パート2	計	前年比
①入職	13	3	2	11	29	+6
②退職	11	4	4	8	27	+8

2. 離職率

※対象期間は、起算日を9/30とし、対象期間は前年の10/1～9/30としています。公益財団法人介護労働安定センターの算出方法を適用しています。

※ただし、新卒については起算日を4/1とし、対象期間は4/1～3/31としています。

※全体の離職率の算出方法は、正職員と準職員、パート1、パート2のそれぞれの離職率を足して2で除しています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
正職員	13.2%	8.5%	8.1%	13%
準職員、パート1、パート2	17.3%	22.5%	6.8%	13.9%
新卒（ ）内は採用人数	0.0% (4)	0.0% (2)	25.0% (4)	0.0% (2)
計	15.3%	15.5%	7.4%	13.5%
県離職率	18.9%	16.1%	16.2%	—

※令和4年9月における平均勤続年数は、全職員で正職員7年6カ月、非常勤職員（準職員、パート1、パート2）6年2カ月となっています。令和4年度の県離職率は、作成時には公表がまだされておりません。

3. 職員数（令和5年3月31日現在）

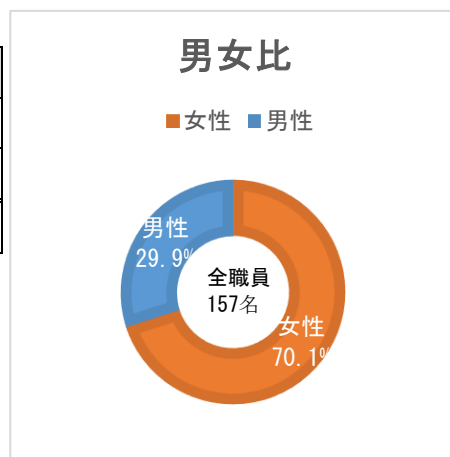
単位(名)

	正職員	準職員	パート1	パート2	計	前年比
経営企画室	6	0	0	0	6	-1
法人本部	0	0	4	11	15	+1
特養西館	25	2	0	6	33	+1
特養東館	17	1	4	4	26	+3
デイ	3	6	3	3	15	+1
居宅	5	0	0	0	5	+1
包括みよし	4	0	0	0	4	±0
GH	4	10	1	5	20	+2
小規模	3	3	0	1	7	-1
包括ふじみ	4	0	0	0	4	-1
健康係	3	2	1	1	7	-1
栄養係	3	5	4	1	13	-1
オレンジサポートセンター	1	1	0	0	2	0
計	78	30	17	32	157	+4

4. 男女比 (令和5年3月31日現在)

単位(名)

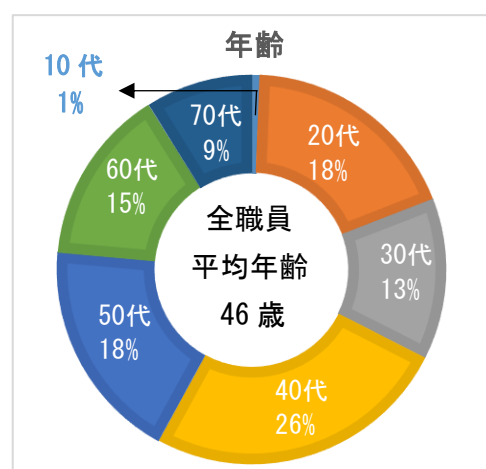
	正職員	非常勤職員	合計	構成比
男性	31	16	47	29.9%
女性	48	62	110	70.1%
合計	79	78	157	100%



5. 年齢 (令和5年3月31日現在)

単位(名)

年代	正職員	非常勤職員	合計	構成比
10代	0	1	1	1%
20代	24	5	29	18%
30代	16	5	21	13%
40代	26	14	40	26%
50代	8	21	29	18%
60代	5	18	23	15%
70代	0	14	14	9%
合計	79	78	157	100%

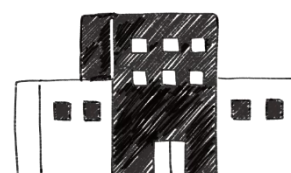


平均年齢 : 全体	46歳
正職員	38歳
非常勤職員	54歳

6. 介護職員の介護系資格保有状況 (令和5年3月31日現在)

単位(名)

資格種別	正職員	非常勤職員	合計
介護福祉士	41	15	56
介護職員実務者研修修了	3	4	7
介護職員初任者研修修了	0	12	12
外国の看護師等の資格	1	0	1
なし(ケアアシスタント含む)	0	14	14
	45	45	90



V 参考資料

Staff Voice

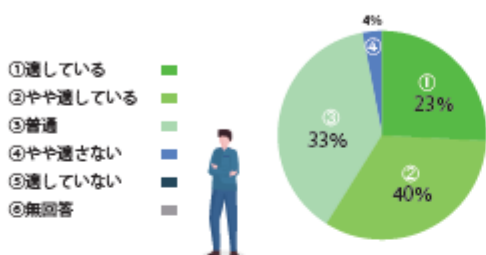
職員アンケート集計結果

令和4年度版

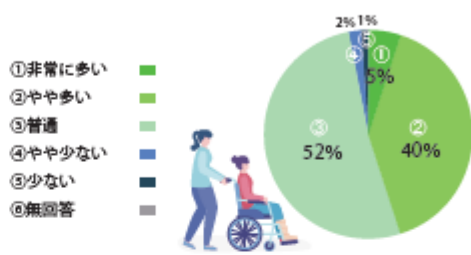
正職員 : 72名
非常勤職員 : 71名



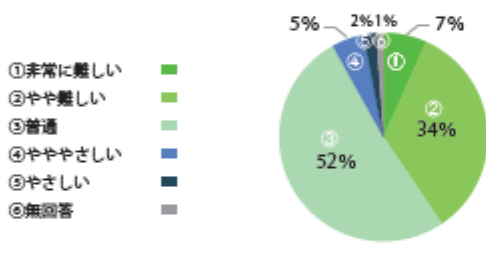
01 現況の仕事は自分にとって適正か？



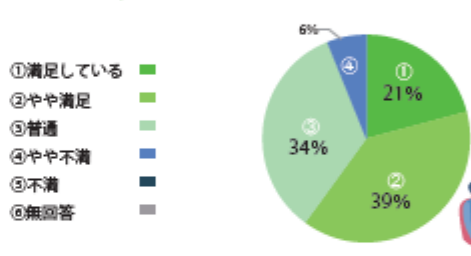
02 仕事の量についてはどうですか？



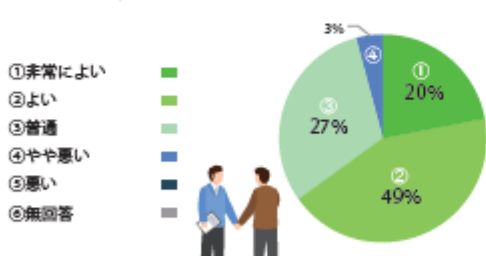
03 仕事の質に関してはどうですか？



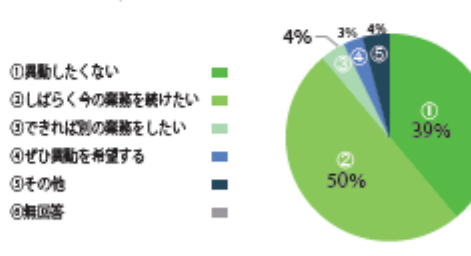
04 仕事の満足度はどうですか？



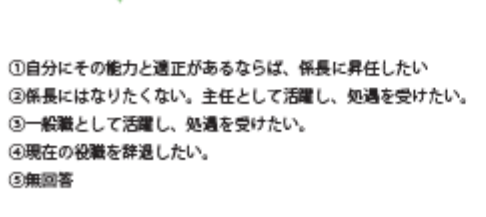
05 職場の人間関係はどうですか？



06 異動についてはどうですか？



07 昇任に対する意向はどうですか？



◇社会福祉法人美咲会で働く職員に対して仕事や職場環境についての調査を実施いたしました。
実施期間：令和4年9月1日～10月31日

社会福祉法人 美咲会